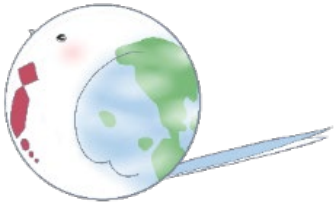
在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン
別冊
やさしい日本語の研修のための手引

話し言葉のやさしい日本語の活用促進に関する会議

2023年3月24日

これまでに出入国在留管理庁と文化庁では、やさしい日本語の普及を促進することを目的として、上記のような冊子を取りまとめてきました。今回の「やさしい日本語の研修のための手引」は 4 冊目となります。これらをやさしい日本語研修をはじめ、各地の取組に活用いただければ幸いです。



出入国在留管理庁　やさしい日本語マスコット
「ことりん」

目 次

はじめに・・・

はじめに

この手引は、やさしい日本語の活用を一層推進するため、「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン[1]」に基づき、研修の効果的な手法及び研修教材等について、分かりやすくまとめたものです。国や地方公共団体等による行政職員及び地域住民に対する研修の企画・実施に役立てていただくことを願って作成しました。

日本に住む外国人は、この30年で3倍に増え、国籍や出身地域・言語も多様化が進んでいます。外国人が日本で安全に安心して生活するためには、法律などのルール、在留や社会保険などの手続、災害・避難情報をはじめとする国や地方自治体からのお知らせなどを正しく理解することが必要です。多言語での翻訳・通訳に加えて、やさしい日本語による行政情報の提供が期待されています。

出入国在留管理庁と文化庁は、令和2年に「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」「別冊やさしい日本語書き換え例」を作成しました。「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」は、全国44の都道府県・政令指定都市で活用されています（文化庁令和3 年度調べ）。そして、61の都道府県・政令指定都市がやさしい日本語の取組を実施しています。既に各地の実情に応じた多様な研修等の取組が行われており、様々な研修の在り方や教材が作られています。

この手引では、各地で開発されたやさしい日本語の研修について紹介するとともに、行政職員がやさしい日本語の研修を行う際の参考となるよう、その手順やポイント、活用できる研修素材を紹介します。

地方公共団体には、この手引を活用いただき、やさしい日本語の研修を通して、やさしい日本語の心構えを多くの地域住民に広げ、共生社会の実現に向けて豊かな地域づくりに役立てていただくことを期待しています。やさしい日本語は、一つの正解が決まっているものではありません。行政職員や地域住民などにやさしい日本語の理解を広げ、その心持ちを伝えていくために、地域の教育機関や外国人コミュニティーなどのリソースを活用して、オリジナルの研修をデザインしてみてください。皆でアイデアを出し合ってやさしい日本語の研修を地域と共に作っていく過程が大きな意味を持つこともあります。

まずは、できそうなところから小さな一歩を踏み出してみませんか！

この手引が各地の研修から始まるやさしい日本語の多様な取組を促進し、各地の「やさしい日本語」の波が全国に広がる一助になるように願っています。

[1] https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html

1　やさしい日本語の普及の意義・必要性について

やさしい日本語は、政府の方針等にも盛り込まれて積極的に推進していく施策の一つとなっています。

政府は、外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策[2]において、全ての省庁で「外国人向けの行政情報・生活情報の更なる内容の充実と、多言語・やさしい日本語化による情報提供・発信を進める」こととしています。

外国人の安全・安心な生活・就労のために必要な基礎的情報を掲載した「生活・就労ガイドブック」電子版[3]は、16 言語に加え、やさしい日本語版が作成され、外国人生活支援ポータルサイト[4]に掲載されています。

地方公共団体でも、「地域における多文化共生推進プラン[5]」等に基づき、コミュニケーション支援の一環として、多言語・やさしい日本語・多様なメディアによる行政・生活情報の提供への取組が行われています。

チェックしてみよう！

●「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」とは？
国が、外国人材の受入れ・共生に関して、目指すべき方向性を示したもの

●「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」とは？
日本の目指すべき共生社会のビジョン、その実現に向けて取り組むべき中長期的な課題及び具体的施策等を示したもの

外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（2022年6月14日）

ウ 情報発信及び相談対応におけるやさしい日本語化の更なる促進

○ 共生社会実現に向けてやさしい日本語の普及を図るため、令和2年(2020 年)8月に策定した「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を踏まえつつ、十分に日本語を活用できない外国人に対し、やさしい日本語によって必要な生活・行政情報等を迅速かつ的確に提供し、相談に対応できるよう、関係省庁と連携して、有識者会議を開催し、話し言葉のやさしい日本語の留意事項の取りまとめを行う。また、やさしい日本語の普及に向けた研修用教材の開発に関する検討を行い、やさしい日本語の普及を促進する。〔法務省、文部科学省〕《施策番号 48》【ロードマップ 31、32】

外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ（2022年6月14日）

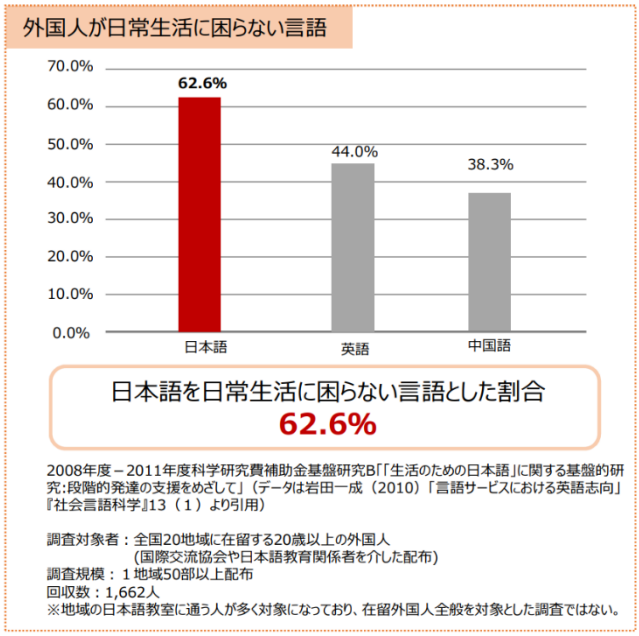
ウ 情報発信及び相談対応におけるやさしい日本語化の更なる促進

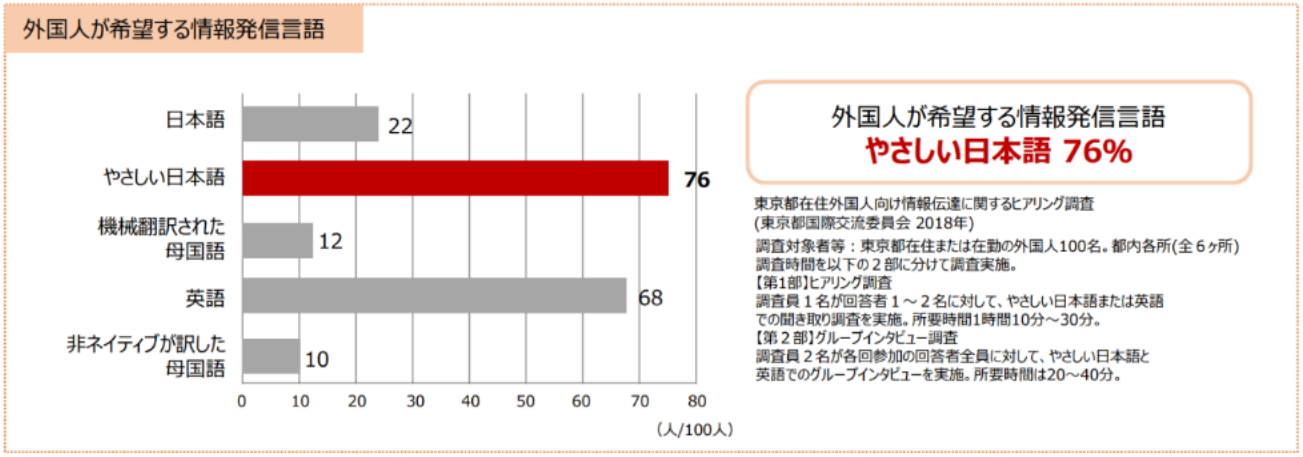
○ 出入国在留管理庁と文化庁が開催した「やさしい日本語の普及による情報提供等の促進に関する検討会議」における議論を踏まえ、研修のための教材等を開発するなどして地方公共団体の職員向けのやさしい日本語の研修を検討し充実させる。また、やさしい日本語書き換え例の追加について検討し、その結果を踏まえ、順次これを追加することにより、外国人住民と最前線で接する地方公共団体等の職員が、通訳・翻訳体制の確保が困難な場合においても、日本語能力が十分でない外国人に対し、やさしい日本語によって必要な情報を迅速かつ的確に提供し、相談に対応できるよう、やさしい日本語の普及を推進する。【法務省】《31》

○ 地方公共団体が実施する日本語教室をはじめとする地域の日本語教育の体制整備の一環として、外国人住民の地域参加を支える日本語教師や日本語学習支援者、地方公共団体の職員や地域住民に対するやさしい日本語の啓発のための研修及びやさしい日本語を通じて住民同士が協働する取組等を支援することにより、やさしい日本語の普及を促進する。【文部科学省】《32》

[2] https://www.moj.go.jp/isa/policies/coexistence/nyuukokukanri01_00140.html
[3] https://www.moj.go.jp/isa/guidebook_all.html
[4] https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/index.html
[5] https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/chiho/02gyosei05_03000060.html

外国人住民のニーズはどうでしょうか。実際に、生活のための日本語に関する調査によると、「日常生活に困らない言語」を「日本語」とした外国人は約 63%に上り、「英語」と答えた外国人の 44%を大きく上回っています。東京都国際交流委員会（調査時点。現「東京都つながり創生財団」）の調査では、「希望する情報発信言語」として「やさしい日本語」を選んだ人が最も多く 76%、「英語」が 68%と、外国人住民側からも、やさしい日本語に対するニーズが高いことがわかります。





やさしい日本語による情報発信が必要になっている機関や部署は、地方公共団体だけでなく、学校や図書館、自治会、医療機関、企業などに広がっています。地方公共団体が様々な機関と連携して、やさしい日本語を普及していくことが求められています。

コラム（１）やさしい日本語に取り組む自治体の現状と課題

　地方自治体のやさしい日本語への取組は、広がりを見せつつあります。しかし、行政情報の発信を担う行政職員に対する研修の実施は、依然として十分とは言えない状況です。

Q１:やさしい日本語に取り組む自治体はどのぐらい？
A１：都道府県・政令指令都市67のうち６１が取り組んでいる！

主な取組

- ●やさしい日本語に関する研修やセミナーの開催
- ●防災などのお知らせのやさしい日本語による発信
- ●ホームページのやさしい日本語化　　など

主な課題

- ▲市区町村により認識の度合いに差がある
- ▲やさしい日本語への書き換えの難しさ
- ▲書き換えを担える人材の不足
- ▲自治会や外国人受入企業・事業者等の広い対象への研修まで行えていない

など

Q2:やさしい日本語の研修を実施したことがある自治体は？
A2：調査に回答した自治体の約半数が、書き言葉、話し言葉のいずれかまたは両方に焦点を当てた職員向け研修を実施

Q3:やさしい日本語の普及に必要なことは？
A3：調査に回答した自治体のうち、約7割が①②③が必要と回答

①研修の際に活用する動画・教材
②話し言葉のやさしい日本語のガイドライン
③先進的な地方公共団体の好事例集について

※Ｑ１は２０２１年度文化庁調べ。Ｑ２・３は２０２１年４月入管庁調べ。

2　やさしい日本語が必要とされている現場・研修の対象者は？

やさしい日本語を必要とするのは、どんなところでしょうか。
研修の対象は、どんな人たちでしょうか。
イメージしてみましょう。

【主な研修対象者の例】

●地方公共団体及び公的機関の職員
- 採用されて間もない若手職員
- キャリア研修の対象となる全職員
- 外国人対応が想定される窓口業務の職員
- 総合案内等の窓口業務の職員（委託先事業者を含む）
- 広報・観光担当の職員
- 警察官や消防隊員

●社会福祉協議会や民生委員・児童委員、医療関係者など公共性の高い専門職
- 社会福祉士、生活相談員等のソーシャルワーカー
- 保健師
- 保育士
- 弁護士
- 行政書士
- 医師や看護師、介護関係者

●教育・文化・スポーツ施設の職員
- 教育委員会や学校教職員及び学校関係者
- 図書館や公民館・体育館の職員
- 博物館・美術館・劇場等の職員

●外国人住民を雇用する企業・事業者・商工会及び就労支援に関わる職員

●地域の自治会・町内会やボランティアなどの住民

●地域国際化協会・国際交流協会・NPO 法人等の外国人支援団体の職員

このほかにも、様々なところで、外国人住民と接する人々の間では、やさしい日本語が必要とされています。それぞれの場所で必要となる、やさしい日本語について、考えてみることが大切です。

コラム（2）やさしい日本語と日本語教育

この手引でいう「やさしい日本語」は、外国人が学ぶ日本語を指すものではありません。やさしい日本語は、難しい言葉を言い換える等、相手に配慮した分かりやすい日本語のことです。外国人、高齢者や障害のある人など、多くの人に日本語を使って分かりやすく伝えようとする、コミュニケーション手段の一つです。

単に言葉の言い換えだけでなく、相づちや相手の反応に合わせて会話をする等の配慮や心掛けの全てが、「やさしい日本語」なのです。

外国人との共生社会の実現に向けて、外国人に対する情報発信や相談対応にやさしい日本語の活用が期待されています。やさしい日本語の使い手となる地方公共団体の職員や外国人住民の地域参加に伴走する支援者、地域住民などに対するやさしい日本語の研修や、やさしい日本語を活用した防災訓練などの地域住民の協働を促進する取組が求められています。

一方で、外国人側にも、少なくともやさしい日本語を理解できる程度の日本語能力が必要となります。やさしい日本語の取組を進めることと同様に、外国人の日本語学習機会の確保が重要であることはいうまでもありません。

日本語教育については、令和元年に「日本語教育の推進に関する法律[6]」が公布・施行され、翌年には「日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針」が閣議決定されました。

この中で、「外国人等が自立した言語使用者として日本社会で生活していく上で必要となる日本語能力を身に付け、教育・就労・生活の場でより円滑に意思疎通できるようになることを目指し、地域における日本語教育環境の強化のために必要な施策を講ずる」と定められています。日本に住む外国人が日本語を学習できるようにしていくことも重要です。

[6] https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/other/suishin_houritsu/index.html

3　やさしい日本語の研修実施の手順とポイント

やさしい日本語の研修は、その目的や対象によって、いくつか種類があります。

①研修の目的

- やさしい日本語の理解の促進・意識啓発
- 書き言葉のやさしい日本語の活用
- 話し言葉のやさしい日本語の活用　など

②研修の対象

- 自治体職員（全職員）
- 窓口業務の担当職員
- 学校教員及び学校関係者
- 地域住民　など

③研修の方法

- 講義・講演
- 演習・ワークショップ方式
- 動画の視聴　など

外国人住民に対するお知らせや行政情報を
やさしい日本語で発信するための、
書き言葉のやさしい日本語研修なら、
幅広い部署の職員を対象にできそうですよ？

窓口業務を担当する職員向けの、
話し言葉のやさしい日本語の
ワークショップが必要では？

まずは全職員を対象に、
やさしい日本語に対する
意識啓発のためのオンライン研修
を行ってみては？

ステップ１　研修を企画する前に

◎様々な研修の事例を見てみよう

p.11

- 様々な自治体の研修企画を参考にして、研修をイメージしてみよう
- 研修の回数や時間、人数の規模、構成等に注目してみよう
- 研修に使えそうな研修教材や動画などのツールを調べてみよう
- 専門機関や協力者、外国人住民との連携にも注目しよう

ステップ2　研修の目的・対象の設定

◎研修の目的・対象を明確にしよう

- 研修の目的を「意識啓発」か「書き言葉」か「話し言葉」かをまず決めよう
- 研修の対象をどこまで広げるか考えよう

ステップ3　研修の方法・組み立て

◎研修の目的・対象に合わせた時間・回数・方法を設定しよう

- １回完結型とするか、複数回のシリーズ形式とするか考えよう
- 誰が研修を実施するか、専門機関・講師・協力者などを考えよう
- 効果的な研修方法を設定しよう
  （対面かオンラインか、講義かワークショップか、など）
- 予算や準備期間、業務量などを考慮して無理のない方法を工夫しよう
- 研修の教材として、どんなものを使うか、作るか、検討しよう

ステップ4　広報・周知の方法

◎効果的な広報・周知の方法を考えよう

- 対象者に届く効果的な広報ツールを複数探そう
- 研修ポスターやチラシの掲示もやさしい日本語の意識啓発につながる

ステップ5　研修の実施

ステップ6　評価と発信

◎研修を次につなげるため、アンケートや HP での発信を準備しておこう

- 参加者にアンケートを取り、研修の振り返りをしよう
- 研修の成果・課題を分析し、次の研修につなげよう
- 研修の様子や成果物、研修教材等は記録し、成果の発信につなげよう
- 書き換えたものが本当にやさしいか、外国人住民の意見を聞くなどしてみよう

4　やさしい日本語の研修事例20

地方公共団体によるやさしい日本語の研修事例を
①研修の目的
②研修の対象
③研修の方法
などに注目して、紹介します。
研修の計画を考える際の参考にしてみましょう。

全国の研修の事例20を集めました。
左側には、研修のポスター・チラシ・開催案内を掲載しました。
右側には、概要を次の10項目に整理して掲載しています。

(1) 研修名称	(6) 研修の内容・構成
(2) 研修の目的・ねらい	(7) 研修に使用する教材
(3) 研修の対象・人数	(8) 連携した機関・団体
(4) 研修の方法	(9) 研修企画のポイント（特に意識したこと・効果・成果）
(5) 周知・広報の方法	(10) 研修担当部署（連絡先）

目的：やさしい日本語に関する理解の促進・意識啓発のための研修

■対象：自治体職員

【事例1】職員向けやさしい日本語基礎講座・スキルアップ講座 〈静岡県〉 ・・・ P.11
【事例2】県内自治体職員対象やさしい日本語研修〈和歌山県〉 ・・・ P.13
【事例3】全職員対象！やさしい日本語研修 〈茨城県八千代町〉 ・・・ P.15

■対象：地域住民

【事例4】やさしい日本語動画（入門編・基礎編・実践編）活用研修〈佐賀県〉・・ P.17
【事例5】地域住民参加型やさしい日本語研修〈神奈川県横浜市泉区〉 ・・・ P.19
【事例6】地域国際化協会と社会福祉協議会が連携した研修〈宮城県〉 ・・・ P.21

■対象：企業・事業者

【事例7】企業・事業者向けやさしい日本語研修〈静岡県浜松市〉 ・・・ P.23

目的：書き言葉としてのやさしい日本語の研修

■対象：防災担当者

【事例8】防災とやさしい日本語・書き換え研修〈東京都〉 ・・・ P.25

■対象：学校教職員

【事例9】教職員向けお便りなどのやさしい日本語書き換え研修〈静岡県〉 ・・・ P.27

■対象：地域住民

【事例10】社会福祉協議会子ども・学生向けやさしい日本語書き換え〈東京都〉・・・ P.29
【事例11】「やさしい日本語」でポスターづくり〈長野県〉 ・・・ P.31
【事例12】企業と連携した市民講座コーディネーターが活躍する研修〈神戸市〉・・・ P.33
【事例13】図書館が実施するやさしい日本語講座〈大分県〉 ・・・ P.35

目的：話し言葉としてのやさしい日本語の研修

■対象：行政職員・文化施設職員

【事例14】窓口職員向け機械翻訳×やさしい日本語コミュニケーション研修〈静岡県〉・P.37
【事例15】大学生が実施する区職員向け話し言葉のやさしい日本語研修〈東京都豊島区〉 ・・・ P.39
【事例16】文化施設職員向け「やさしい日本語で話そう」研修〈東京都〉 ・・・ P.41

■対象：子ども

【事例17】小学生向けやさしい日本語出前講座〈愛知県豊川市〉 ・・・ P.43

■対象：商工会・商店街

【事例18】やさしい日本語講座（観光・接客編）〈島根県雲南広域連合〉 ・・・ P.45

■対象：事業者・ボランティア

【事例19】思いやりのパス！スポーツチーム・ボランティア向け研修〈東京都〉 ・・・ P.47
【事例20】社会教育施設を核としたやさしい日本語の普及研修〈大分県〉 ・・・ P.49

1回の研修に「意識啓発」「書き言葉」「話し言葉」の全てを含めることもあれば、全3回に分けて行う方法もありますね。事前に動画を視聴したり、各自がやさしい日本語に書き換えた文書を持ち寄る研修など、工夫次第で色々できそうですね！

【事例 1】職員向けやさしい日本語基礎講座・スキルアップ講座（静岡県）

(1) 研修名称	行政職員のための「やさしい日本語」講座
(2) 研修の目的・狙い	やさしい日本語の考え方と文書作成をメインとし、行政に関わるすべての職員に、「やさしい日本語」に取組む必要性を意識してもらい、実践につなげる。
(3) 研修の対象・人数	県・市町行政職員、教育委員会職員、警察職員等 対面：会場規模に合わせて 20～50 名程度 オンライン：50 名程度
(4) 研修の方法	対面（県内複数箇所）・オンライン
(5) 周知・広報の方法	関係者へのメール連絡、庁内掲示板への掲載
(6) 研修の内容・構成	基礎講座 ①やさしい日本語の背景、なぜ行政が取り込むべきか ②やさしい日本語に必要な多文化共生の考え方 ③簡単な変換ワーク スキルアップ講座 ①基礎講座のおさらい ②長文変換ワーク（情報の整理・足し引き、言い換え等）
(7) 研修使用教材	静岡県「やさしい日本語」の手引き 講師独自教材
(8) 連携機関・団体	特になし
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	基礎講座では、自治体職員が多文化共生の視点を持つことや「やさしい日本語」に取り組む意義について丁寧に説明し、納得感をもたせることを心がけた。 スキルアップ講座では、対面開催では貼り紙によるグループワークを、オンライン講座でもチャットを使い、参加者同士のアイデア交換ができることを重視した。 研修を二回にわけて行うことで、基礎講座でマインドの部分に時間をかけ、スキルアップ講座で基礎講座の振り返りを行い、知識を定着させることができた。 アンケートでは、「やさしい日本語は外国人のためだけではない」「自分には関係ないと思っていたが、全員が心がけるべき話だ」などの声があった。 （対面講座：グループワークの様子）
(10) 担当部署	静岡県　多文化共生課 ☎ 054-221-2178 ✉tabunka@pref.shizuoka.lg.jp

【事例２】県内自治体職員対象やさしい日本語研修（和歌山県）

依頼文（公文書）

国 第 11080001 号
令 和 4 年 11 月 8 日

各市町村国際交流担当課室長　様

和歌山県企画部企画政策局国際課長
（ 公　印　省　略 ）

令和４年度自治体職員向けやさしい日本語研修会の受講について（依頼）

平素から本県国際行政の推進に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県では、日本語能力が十分でない在留外国人のコミュニケーションを支援するため、外国人が理解しやすい「やさしい日本語」の普及に取り組んでいるところです。「やさしい日本語」は、災害時等に外国人へ情報を伝えたい時、日本語を使って分かり易く伝えようとする手段として活用されており、令和４年１月、文化庁文化審議会で 70 年ぶりに改定された「公用文作成の考え方（建議）」においても、外国人向けに情報発信する言葉として「やさしい日本語」を用いるよう提示されています。

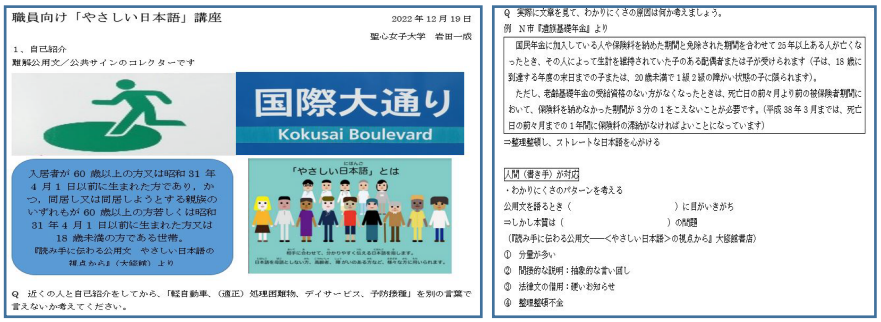
今般、市町村職員の皆様が「やさしい日本語」の知識を深め、在留外国人のコミュニケーション支援の取り組みへと繋げていただくことを目的に、下記のとおり「やさしい日本語研修会」を開催します。

各市町村国際交流担当の皆様の受講について、ご配慮くださいますようお願い致します。また併せて、防災部署や広報部署等、日頃の業務で在留外国人と接する機会がある庁内関係部署へも幅広に周知していただき、別添申込書により受講者を市町村毎にとりまとめの上、ご回答お願い申し上げます。

記

日　　時：令和４年 12 月 19 日（月）　13 時 30 分～15 時 30 分（120 分）
内　　容：前半：やさしい日本語概要説明
　　後半：やさしい日本語での窓口対応（話ことばや態度、技術）、広報誌等（書き言葉のポイント）における実践練習他
開催方法：オンライン会議システム（Zoom）
　　※オンライン会議アドレスについては、受講者の方に後日送付いたします。
主　　催：和歌山県国際交流センター
協　　力：和歌山県（国際課）
講　　師：聖心女子大学　日本語日本文学科　岩田一成教授
受講対象：県職員・市町村職員
申込方法：別添申込書に市町村毎にとりまとめの上、担当までメールにて回答願います。
申込期限：令和４年 12 月９日（金）
参考資料：
①「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン概要」（出入国在留管理庁・文化庁）
https://www.moj.go.jp/isa/content/930006071.pdf
②「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」（出入国在留管理庁・文化庁）
https://www.moj.go.jp/isa/content/930006072.pdf
③「公用文作成の考え方（建議）」（文化庁文化審議会）
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93651301_01.pdf

※上記依頼文（公文書）については、同様のものを県庁内全部署へも併せて発出。

(1) 研修名称	令和4年度自治体職員向けやさしい日本語研修会
(2) 研修の目的・狙い	県職員・市町村職員が、在留外国人が理解しやすい「やさしい日本語」の知識を深め、在留外国人のコミュニケーション支援の取り組みへと繋げてもらうこと。
(3) 研修の対象・人数	研修の対象：県職員・市町村職員 参加人数：56 名（県職員 27 名、市町村職員 29 名） ※研修案内時の参加者数は制限なし
(4) 研修の方法	岩田一成教授（聖心女子大学日本語日本文学科）に講師を依頼し、オンライン（Zoom）で開催。研修後、参加者に課題の提出とアンケートを依頼。
(5) 周知・広報の方法	和歌山県国際課から、県職員・市町村職員へ依頼文（公文書）を発出。
(6) 研修の内容・構成	・やさしい日本語の概要 ・やさしい日本語の活用事例 ・やさしい日本語での窓口対応（話し言葉や態度、技術） ・広報誌等（書き言葉のポイント）における実践練習
(7) 研修使用教材	・講師（岩田一成教授）が作成した研修用資料 ・「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」（出入国在留管理庁・文化庁） ・「公用文作成の考え方（建議）」（文化審議会）
(8) 連携機関・団体	和歌山県企画部企画政策局国際課
(9) 研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	・研修方法を、対面ではなくオンライン開催にすることで、遠方からの参加の手間を軽減した。 ・研修の周知・広報について、和歌山県国際交流センター（指定管理者：公益財団法人和歌山県国際交流協会）から案内するのではなく、連携機関である県から依頼することで、参集効果を高めた。加えて、県は庁内全部署へ案内し、市町村に対しても、幅広に周知してもらうよう依頼した。 ・講師から一方向の講義にするのではなく、参加者による演習を交えた双方向の研修にし、かつ研修後も課題によるフィードバックを実施する等、参加者が実際にやさしい日本語を活用できるようになってもらうことを意識した。  職員向け「やさしい日本語」講座　2022 年 12 月 19 日　聖心女子大学　岩田一成 1、自己紹介 難解公用文／公共サインのコレクターです 国際大通り Kokusai Boulevard 入居者が 60 歳以上の方又は昭和 31 年 4 月 1 日以前に生まれた方であり，かつ，同居し又は同居しようとする親族のいずれもが 60 歳以上の方若しくは昭和 31 年 4 月 1 日以前に生まれた方又は 18 歳未満の方である世帯。 『読み手に伝わる公用文　やさしい日本語の視点からの文章練習』より 「やさしい日本語」とは Q 近くの人と自己紹介をしてから、「軽自動車、（遺正）処理困難物、デイサービス、予防接種」を別の言葉で言えないか考えてください。 Q 実際に文章を見て、わかりにくさの原因は何か考えましょう。 例 N市『遺族基礎年金』より 国民年金に加入している人や保険料を納めた期間と免除された期間を合わせて 25 年以上ある人が亡くなったとき、その人によって生計を維持されていた子のある配偶者または子が受けられます（子は、18 歳に到達する年度の末日までの子または、20 歳未満で 1 級 2 級の障がい状態の子に限られます）。 ただし、老齢基礎年金の受給資格のない方がなくなったときは、死亡日の前々月より前の被保険者期間において、保険料を納めなかった期間が 3 分の 1 をこえないことが必要です。（平成 38 年 3 月までは、死亡日の前々月までの 1 年間に保険料の滞納がなければよいことになっています） ⇒整理整頓し、ストレートな日本語を心がける 人間（書き手）が対応 ・わかりにくさのパターンを考える 公用文を語るとき（　　）に目がいきがち ⇒しかし本質は（　　）の問題 （『読み手に伝わる公用文――<やさしい日本語>の視点から』大修館書店） ① 分量が多い ② 間接的な説明・抽象的な言い回し ③ 法律文の専門・硬いお知らせ ④ 整理整頓不全 ＜研修資料一例＞
(10) 担当部署	和歌山県国際交流センター （指定管理者：公益財団法人和歌山県国際交流協会） ☏ 073-435-5240　✉ wa-world@wixas.or.jp

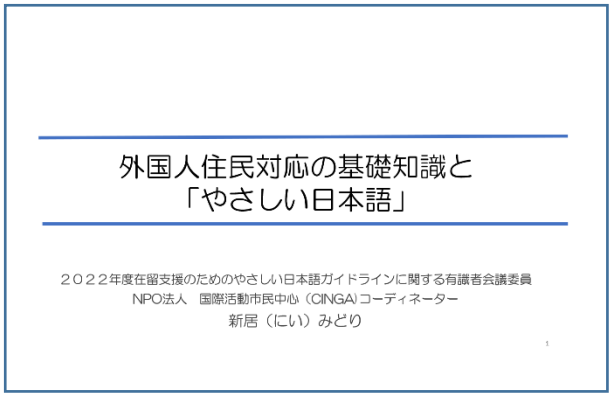
【事例 3】全職員対象！ 職員向けやさしい日本語研修（茨城県八千代町）

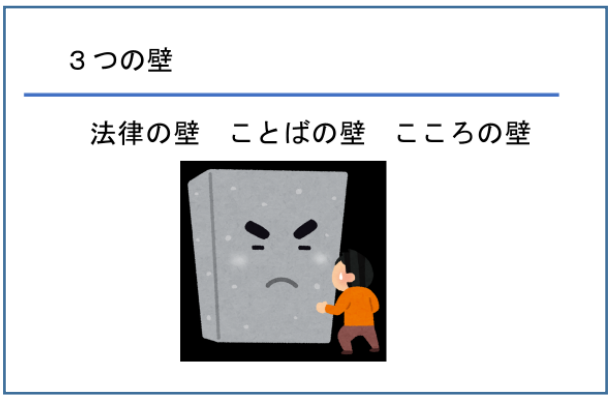
「多文化共生研修会」の開催について

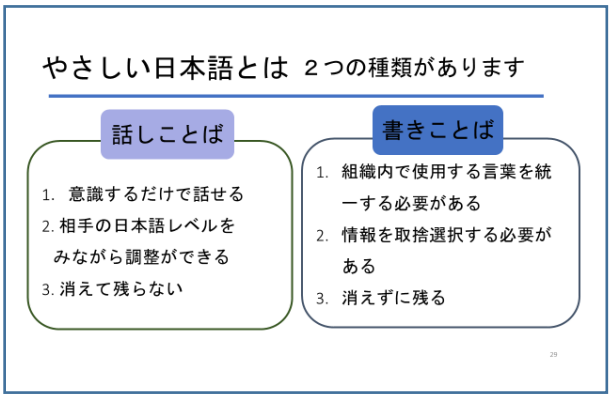
下記のとおり開催いたしますので、職員の受講についてご配慮くださるようお願いいたします。

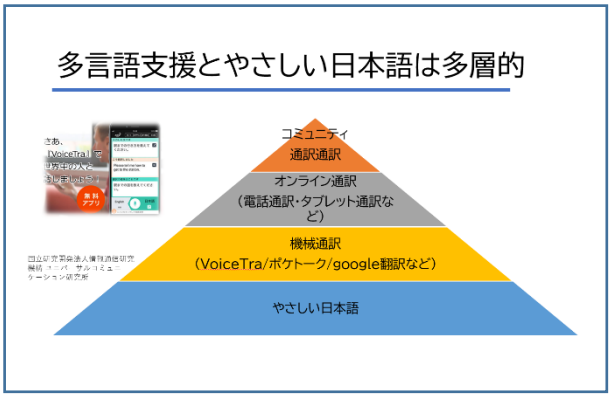
記

1. 日　時　令和4年12月19日（月）
　午前の部　10:00～12:00
　午後の部　13:30～15:30
2. 場　所　庁舎4階 大会議室
3. 講　師　新居（にい） みどり（NPO 法人 CINGA（シンガ） コーディネーター）
4. 対象者　全職員
　午前・午後の部で約半数になるよう各課で調整をお願いします。
5. 内　容　・日本と外国の生活習慣・文化の違い
　・在留資格及び就労の制限
　・やさしい日本語









<研修資料の一部>

(1) 研修名称	多文化共生研修会
(2) 研修の目的・狙い	多文化共生に関して、町職員に対する意識を啓発し、やさしい日本語を知る第一歩とする。
(3) 研修の対象・人数	町職員　約 180 名（うち132名参加）
(4) 研修の方法	対面開催（1日2回）
(5) 周知・広報の方法	定例庁議・庁内ネットワークシステム
(6) 研修の内容・構成	① 日本と外国の生活習慣・文化の違い ② 在留資格及び就労の制限 ③ やさしい日本語
(7) 研修使用教材	・行政職員のための外国人支援の基礎知識とやさしい日本語 ・やさしい日本語コツプリント ・講座ワークシート
(8) 連携機関・団体	・NPO 法人　CINGA ・茨城県ベトナム友好協会 ・八千代町国際交流 YIFA
(9) 研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	○全部局の職員が広く参加できるよう，町役場全体に対して参加を呼びかけた。 ○全職員ができるだけ参加しやすいよう，午前・午後の2回を設定したことで，7割以上の職員が参加することができた。 ○事前アンケートでは「日本と外国の生活習慣・文化の違いを知りたい」「在留資格について学びたい」「就労の制限についてききたい」「やさしい日本語を学びたい」などの要望があり，講師には事前アンケート結果を踏まえた研修内容をデザインしてもらうことができた。 ○研修後に「やさしい日本語を業務に取り入れようと思った」などの感想をもらった。 <研修の様子>
(10) 担当部署	茨城県結城郡八千代町企画財政部まちづくり推進課 ☏ 0296−49−6312（課直通） ✉ machisui2@town.ibaraki-yachiyo.lg.jp

【事例4】やさしい日本語動画（入門編・基礎編・実践編）活用研修（佐賀県）

県内各地で行っていた出前講座がコロナ禍で次々と中止になり、一気に自粛期間に突入。その時間を活用し、やさしい日本語の普及動画を作成。ベトナム人の国際交流員を中心に、外国人や日本人に聞き取りをし、「やさしい日本語」だったらうまく意思疎通ができたのに！という場面を選定。出演者も国際交流協会の理事長をはじめ県国際課の課長や国際交流協会に出入りしている外国人に協力してもらい、撮影から編集まで職員が行ったため製作費はゼロ。

現在は、当課が出講する出前講座で動画を用いることはもちろん、YouTube でも配信しているため、だれでも、どこでも視聴・活用することができ、様々な場面で活用されている。

(1) 研修名称	「多文化共生の地域づくり」、「やさしい日本語」を使って交流しよう」 「異文化コミュニケーション」、「減災のための「やさしい日本語」 など
(2) 研修の目的・狙い	コミュニケーション方法の一つとして「やさしい日本語」を使い、対話する活動を通して、相手を知り、人が繋がりながら多文化共生マインドを育成する。
(3) 研修の対象・人数	・学生（高校生や短大生、大学生） ・外国人を受け入れている企業の日本人職員 ・地域（自治会や公民館事業の一環としての講座） ・消防学校、警察、高齢者大学、行政職員　　など 基本的に依頼があれば県内どこへでも出張し実施。 依頼者と相談の上、研修（講座）内容を検討し企画。
(4) 研修の方法	対面形式（可能な限り地域の外国人も参加してもらう形で開催）
(5) 周知・広報の方法	出前講座（依頼を受けてから出講）方式で開催なので、周知・広報は主催団体が主体で実施。
(6) 研修の内容・構成	①佐賀県内の在留外国人の概要（数や在留資格、地域の傾向） ②コミュニケーション方法の一つとしての「やさしい日本語」 ③外国語としての「日本語」 ④動画の視聴 ・「やさしい日本語」の背景・理念 ・「やさしい日本語」の活用事例・活用方法 ⑤「やさしい日本語」を使って交流しよう
(7) 研修使用教材	佐賀県国際課が制作した「やさしい日本語」動画 受講者（依頼内容）に合わせて入門編、基本編、実践編を使用
(8) 連携機関・団体	・県内の留学生が在籍する、大学、短大、専門学校、日本語学校など ・県内市町行政、佐賀県国際交流協会
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	動画を作成したことにより、外国人と接したことがない人でも、接した時、話をする時どうすればいいかが手軽にイメージできるようになった。 また「場面」については外国人、日本人双方の意見を聞きながら作成したので、地域、職場、行政窓口、など様々な参加者に対応できるシーンを使い分けることができ、参加者からは 「佐賀弁が外国人には難しいと知った」 「日本語でもいいと知った。今度は近所の外国人に話しかけてみたい」 「交流ができるということは本当に楽しい！」 など、外国人に対して消極的だった気持ちが前向きになっている意見を多くもらっている。 ＜研修の様子＞
(10) 担当部署	佐賀県庁地域交流部国際課 ☎：0952-25-7328 ／✉：kokusai@pref.saga.lg.jp

【事例 5】地域住民参加型やさしい日本語研修（神奈川県横浜市）

～地域に住んでいる外国の方と交流してみませんか？～

多文化共生入門講座

全３回コース

無料

地域にお住まいの外国籍住民の方と「やさしい日本語」を使用してコミュニケーションを図ってみませんか？外国語が話せなくても大丈夫です！
この講座をきっかけにボランティア活動を始めてみませんか？

令和５年

内容

第1回 1月12日（木） 10:00～12:00	外国籍区民が困っていること 日本語ボランティアって何をするの？	泉公会堂 第1会議室
第2回 1月17日（火） 10:00～12:00	やさしい日本語とは？ 日本語教室交流セッション準備	泉区役所 4Ｃ会議室
第3回 1月19日（木） 10:00～12:00	実践やさしい日本語でコミュニケーション 日本語教室での交流セッション	泉公会堂 第1会議室

対象者

☆地域の外国籍住民と交流したい方
☆日本語ボランティアに興味のある方
☆近所に住んでいる外国籍住民を自治会・町内会に誘いたい方　など

申込

名前・電話番号・住所を電話、Ｅメール、ＦＡＸにて、下記問合せ先までお申込みください。
◆郵送付いただいた個人情報は、本講座の案内を送付する目的のみに使用し、他の目的には一切使用しません。

講師

山崎　佳子先生
市内各区にて日本語教室講師及び日本語ボランティア講座講師を務めている。
2010年から、泉区役所主催の日本語教室にて講師を務めている。

泉区地域振興課区民事業担当
（3階309番窓口）
TEL：(045) 800－2392
FAX：(045) 800－2507
Email: iz-tabunka@city.yokohama.jp

(1) 研修名称	多文化共生入門講座
(2) 研修の目的・狙い	外国籍等区民と日本人区民が地域で気軽に声を掛け合える関係を築くことで、外国籍等区民が地域で自立し、外国籍等区民と日本人区民の相互理解を促進する。
(3) 研修の対象・人数	地域の外国籍住民と交流したい方 日本語ボランティアに興味のある方 近所に住んでいる外国籍住民を自治会・町内会に誘いたい方など 10 人程度
(4) 研修の方法	対面開催
(5) 周知・広報の方法	区報、HP、チラシ、関係者への連絡など
(6) 研修の内容・構成	第 1 回　泉区の多文化共生について／外国籍住民インタビュー 地域の日本語ボランティアとは？ 第 2 回 「『やさしい日本語』でコミュニケーション」 「やさしい日本語」とは 日本語教室交流セッションに向けて（準備・リハーサル） 第 3 回 「実践やさしい日本語でコミュニケーション」 ～日本語教室での交流セッション 区内在住の外国人（日本語学習者）と交流セッション ふり返りと今後の活動に向けて
(7) 研修使用教材	オリジナル資料 「みなさんに知ってもらいたい言葉　やさしい日本語」横浜市国際交流協会 「FC東京×やさしい日本語」普及啓発動画 観光施設のパンフレット、地図　など
(8) 連携機関・団体	公益財団法人横浜市国際交流協会
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	講座の目的「地域で気軽に声をかけあう関係を築く」が達成できるよう、プログラムのなかに外国籍住民への生活インタビューや、交流セッションをいれるなど、相互理解と交流を大切にした。同時期に開催していた、泉区役所日本語教室と連動させ、日本語教室のなかで、講座参加者との交流セッションを行うことを、講座の中心とした。この交流活動での実践に向け「やさしい日本語」でのコミュニケーションについて、その考え方と方法を学んだ。直接区民同士が話をすることで相互理解が進み、また、やさしい日本語によるコミュニケーションの大切さがより伝わった。
(10) 担当部署	横浜市泉区地域振興課 ☏ 045-800-2392　✉ iz-tabunka@city.yokohama.jp

【事例 6】地域国際化協会と社会福祉協議会が連携した研修（宮城県）

地域の外国人とのより良いコミュニケーションのための

「やさしい日本語」研修

参加費無料！

参加者募集！

ご近所や外出先で、外国人と出会ったり、「外国人かな？」と思われる人を見かけたりすることはありませんか？そして、そんなとき「外国語ができないから、ちょっと話しかけにくいな・・・」と思っていませんか？

実は、日本に暮らす外国人のなかには、基本的な日本語がわかる人が多いのです。私たちがふだん使っている日本語に、少しだけ工夫をすれば、今よりもっと外国人とのコミュニケーションがとりやすくなります。この研修会では、その工夫のしかたについて学びます。

日時 2022年 1月14日(金) 13:30～15:00

会場 柴田町地域福祉センター 多目的ホール
(柴田郡柴田町大字船岡字中島68)

内容
- 柴田町内の在住外国人の状況について
- 外国人の柴田町での暮らしについて
- はじめての「やさしい日本語」

対象 町内にお住まいで、地域で外国人と接する機会がある方や多文化共生・国際交流に関心のある方

定員 30名

お申込み 柴田町社会福祉協議会
TEL：0224-58-1771 FAX:0224-58-1070
E-mail：mirai@s-shakyo.jp
（お名前、お電話番号、お住いの地区名をお知らせください。）

「やさしい日本語」とは？
難しい単語を言い換えたり、文を短くしたりするなど、相手に配慮して調整したわかりやすい日本語のこと。外国人とのコミュニケーションだけでなく、高齢者や子どもへの情報伝達にも役立つものとして、近年注目されています。
「やさしい日本語」の言い換え例：両親 → お父さんとお母さん
いらしてください → 来てください

- 換気、消毒、間隔を空けての着席など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで開催します。
- 研修会当日はマスクを着用してください。
- 発熱や風邪の症状等の体調不良がある場合は、参加をお控えください。

主催：(公財)宮城県国際化協会(MIA)・(社福)柴田町社会福祉協議会
※宮城県委託事業
後援：柴田町

（宮城県国際化協会 TEL: 022-275-3796 E-mail: mail@mia-miyagi.jp）

(1) 研修名称	地域に暮らす外国人とのより良いコミュニケーションのための「やさしい日本語」研修
(2) 研修の目的・狙い	民生委員・児童委員が自分たちの暮らす地域の多文化化、多文化共生、やさしい日本語について理解を深める契機とする。
(3) 研修の対象・人数	地域の民生委員・児童委員　73人
(4) 研修の方法	対面
(5) 周知・広報の方法	社会福祉協議会から対象となる人たちへの周知
(6) 研修の内容・構成	①地域の国際化の現状 ②やさしい日本語の背景・理念 ③話し言葉のやさしい日本語
(7) 研修使用教材	他団体作成の資料を参考にして作成したパワーポイント資料及びワークシート
(8) 連携機関・団体	①柴田町社会福祉協議会　②柴田町 ※宮城県からの委託業務として実施。
(9) 研修のポイント (特に意識したこと、効果・成果)	初年度に、柴田町社会福祉協議会、柴田町と連携のうえ、同社協に関連のある各種団体（町内会、民生委員、観光ボランティア等）の構成員を主な対象としたやさしい日本語の研修を開催したところ、参加した民生委員の地区役員の方から依頼をうけ、翌年度は町内の民生委員・児童委員全員を対象とした研修会として開催することとなった。 参加者のなかには、普段は外国人の接点がそれほどない方も多かったようだが、「やさしい日本語は高齢者、子供とのコミュニケーションにも役に立つ」といった、民生委員・児童委員の活動への有用性について述べた感想が多く見られた。 福祉と多文化共生は理念的に重なる部分も多く、地域のお世話役である民生委員の方々に、周囲に暮らす外国人のことや多文化共生に関心を持ってもらうことは、大変意義のあることだと考える。 <参加者アンケートから> ◇「やさしい日本語」の精神は、そのまま福祉やいろいろな人々との共生社会に通じるものだと思います。 ◇外国人との接点はなかなかないのですが、子供達や高齢者の方との会話と一緒だなあと思いました。わかりやすい言葉を選んでゆっくりと話す。改めて大切なことだと感じました。 ◇今まで気づかなかったのですが、近くに外国の方が住んでいましたので、わかりやすい言葉で接していこうと思いました。 ◇もっと沢山の外国の方が日本、柴田町に来ることが考えられるので、今回勉強したことを活かして易しい日本語を優しく言えるようになれたら良いと思いました。
(10) 担当部署	公益財団法人宮城県国際化協会 ☎ 022-275-3796　✉ mail@mia-miyagi.jp

【事例 7】企業・事業者向けやさしい日本語研修（静岡県浜松市）

NEW

文化庁　令和４年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用
令和４年度　浜松市における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

指示が伝わっていなかった！

返事があったのに勘違いされていた！

挨拶以外にもコミュニケーションを取りたいけど、日本語で伝わる？

このようなお悩みがありませんか？
日本人側の意識が変われば、解決できることがあります。

やさしい日本語研修

なぜ、やさしい日本語が必要なのか？

やさしい日本語は、外国人のためだけではありません。伝えたいことを明確に伝えるスキルを磨くことによって、社内のコミュニケーション活性化にも役立ちます。会社力アップのために、やさしい日本語研修を取り入れてみませんか？

【やさしい日本語研修の風景】
「方言は日本語学習では習いません」「敬語は初級レベルの後半まで習いません」等、日本語を外国語として学習している外国人の立場に立って考えます。また、オリジナルテキストを使って、日本語の調整のコツについて学びます。

◆やさしい日本語研修（基本）◆

《対　象》日本人社員
《人　数》20人程度
※受講者5人以上から講師を派遣します
《形　式》ワークショップ主体の座学
《時　間》1回 2時間
《受講料》無料（※先着2団体まで）
《講　師》(公財)浜松国際交流協会の職員(日本語教育コーディネーター等）を派遣
《その他》内容も含めてお気軽にご相談ください。

◆内容◆

①浜松市における多文化共生社会に向けた取組
②政府によるやさしい日本語の普及推進
③やさしい日本語とは
④やさしい日本語と異文化理解
⑤実践！やさしい日本語へ変換
⑥まとめ

お問合せ・ご相談先

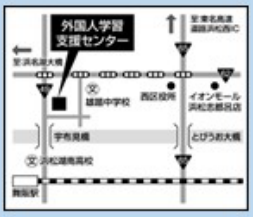
浜松市外国人学習支援センター(U-ToC)

（主催：浜松市　業務受託：公益財団法人浜松国際交流協会(HICE)）

〒431-0102　浜松市西区雄踏町宇布見9611-1

TEL. 053-592-1117　FAX. 053-592-1179　開館：平日9時～17時

Mail: u-toc_info@hi-hice.jp　件名に「やさしい日本語研修」と記載ください



(1) 研修名称	企業・事業所向け出前講座　やさしい日本語研修
(2) 研修の目的・狙い	外国人社員とのコミュニケーションにやさしい日本語が有効であることを知る機会とする。また、外国人社員とのやりとりのためだけでなく、相手に合わせて言葉や言い方を調整することが、社内コミュニケーションの活性化につながり、さらに年代、性別、国籍、障害の違いに関わらず様々な方とのコミュニケーションにもつながることを学ぶ。
(3) 研修の対象・人数	企業や事業所に勤める社員、初めてやさしい日本語に触れる方 20 人程度
(4) 研修の方法	対面が望ましいが、オンラインでも可。
(5) 周知・広報の方法	HP、Facebook、チラシの配布等
(6) 研修の内容・構成	①浜松市における多文化共生社会に向けた取組 ②政府によるやさしい日本語の普及推進 ③やさしい日本語とは ④やさしい日本語と異文化理解 ⑤実践！やさしい日本語へ変換 ⑥まとめ
(7) 研修使用教材	やさしい日本語研修ワークブック(入門編)（オリジナル） 「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」と紹介動画 日本語教育の推進に関する法律 外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ（HP） やさしい日本語ラップ「やさしい　せかい」（You Tube） やさしい日本語ー多文化共生社会へ（岩波新書）庵功雄 日本語を話すトレーニング（ひつじ書房）野田尚史・森口稔 日本語を書くトレーニング（ひつじ書房）野田尚史・森口稔 新日本語の中級本冊（スリーエーネットワーク）(財)海外技術者研修協会 異文化理解力(英知出版)エリン・メイヤー リーディングチュウ太(HP) NHK NEWS WEB EASY(HP)
(8) 連携機関・団体	（公財）浜松国際交流協会
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	講義とワークのセットで行うことで、なぜやさしい日本語が必要かを実感できるよう工夫している。アンケートからも自身の伝え方を考えるようになったなど、社内だけでなく、社会生活におけるコミュニケーションの在り方についても見直すきっかけとなっていることがわかる。
(10) 担当部署	浜松市外国人学習支援センター ☎ 053-592-1117　　✉ u-toc_info@hi-hice.jp

【事例８】防災とやさしい日本語・書き換え研修（東京都）

研修実施に係る通知の抜粋

１　実施目的

要配慮者に対する接遇時に活用できる技術・知識についての理解を深め、住まいの防火防災診断等の各消防署における要配慮者の安全対策の推進に資することを目的とします。

２　実施日時

令和４年７月２８日（木）

１４時００分から１７時００分まで（１３時３０分受付開始）

３　実施場所

芝消防署　４階会議室

４　対象者

各消防署で地域防災業務に携わる職員（要配慮者の安全対策担当）又は、聴講を希望し、かつ、所属長が指定する職員で各署１名程度

５　実施内容等

⑴　講師

東京都生活文化スポーツ局　都民生活部　課長代理　村田陽次氏

⑵　講習内容

要配慮者に対する「やさしい日本語」の活用について（仮題）

⑶　事前準備

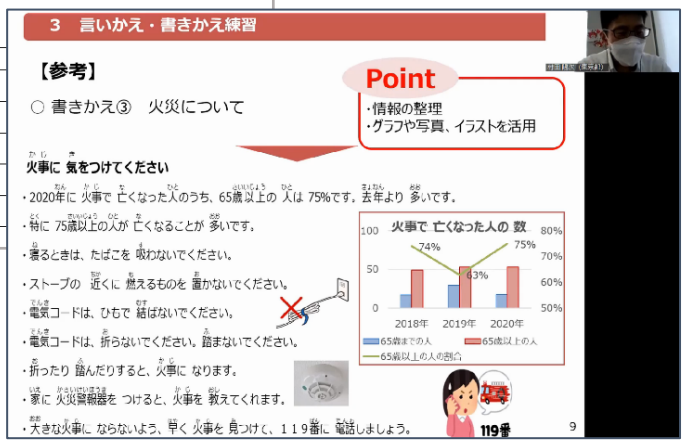
講習の最後に、質疑応答の時間を３０分間設けています。普段、都民に接する機会に、伝わりづらさを感じている表現等があれば、この時間を活用できるよう、事前に検討してください。

６　スケジュール

時　　間	内　　容
１３：３０～１４：００	受付
１４：００～１４：１０	開会・挨拶（防災部副参事）
１４：１０～１６：１０	「やさしい日本語」講習
１６：１０～１６：４０	「やさしい日本語」質疑応答
１６：４０～１７：００	事務連絡・閉会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインでの実施に変更

【研修の様子】



※ 研修当日のオンライン画面をキャプチャー

【活用の事例】

▲防災ハンドブック（東京消防庁）

▲防災館リーフレット／体験ツアーの様子（池袋防災館）

▲外国人のための防災訓練（中野消防署・野方警察署・中野区役所）

(1) 研修名称	東京消防庁　防災安全業務本部教養（要配慮者担当職員講習会）
(2) 研修の目的	東京消防庁管内の各消防署に対してやさしい日本語の意義を周知することで、消防分野におけるやさしい日本語の活用拡大を図った。また、既に都内の防災館（防災体験施設）では外国人の来館者が多く、やさしい日本語での取組が行われていたことなどから、そこの相乗効果も狙った。
(3) 研修の対象	各消防署において、防火防災訓練・住まいの防火防災診断等、 都民に対して防災に関する指導、説明およびアドバイスを行う職員 90名程度
(4) 研修の方法	オンライン
(5) 広報の方法	東京消防庁による研修対象者（各消防署職員）への呼びかけ
(6) 研修の内容・構成	①講義 ・やさしい日本語の概要（普及の背景、ポイント、意義） ・各分野における実践事例の紹介 ・やさしい日本語の注意点 ②書き換え練習
(7) 研修使用教材	・「やさしい日本語と多文化共生の推進」（東京都作成研修資料） ・「やさしい日本語を使おう！」（墨田区作成動画）
(8) 連携機関・団体	①東京消防庁防災部防災安全課　②東京消防庁管内の各消防署
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、 効果・成果）	・基本的な研修内容に加えて、やさしい日本語普及の背景や、活用事例については、防災関連のものが多くなるようにカスタマイズして資料等を作成した ・書き換え練習についても東京消防庁防災部防災安全課と調整し、「火災」や「日常生活事故」など防災の実践に即した題材を取り上げた ・本研修をはじめとして、やさしい日本語の必要性が高い防災分野において積極的に研修や協力を行ったことで、活用が広がった （活用の事例） ・東京消防庁が外国人向けの防災ハンドブックをやさしい日本語で作成 ・池袋防災館がやさしい日本語による体験ツアー実施 ・防災館等のノウハウも活かし、中野区で消防署・警察署・区役所と国際交流協会が連携した外国人防災訓練を実施 ※前頁の下に関連する写真を掲載
(10) 担当部署	東京都　生活文化スポーツ局　都民生活部　地域活動推進課 ☎ 03-5320-7738 ✉ S1121202@section.metro.tokyo.jp

【事例 9】教職員向けお便りなどのやさしい日本語書き換え研修（静岡県）

外国につながりがある
児童生徒への教育支援

「日本語による日本語指導」の普及

県教育委員会では、「日本語による日本語指導」の普及のため、日本語指導コーディネーター派遣事業を行っています。外国につながりがある児童生徒の日本語指導に対して、お悩みをお持ちの学校や市町教育委員会の方は、ぜひ各教育事務所配置の日本語指導コーディネーターを積極的に御活用ください。

外国につながる子どもが編入してきたけど、日本語が不得意

これからどんどんケースが増えそうだけど、市町としてどうしたらいいの？

クラスにいる外国につながりがある子どものために、どんな授業をしたら、理解しやすいだろう？

校内の他の先生方にも外国につながる子どもたちについて知ってほしい

指導計画はどうやって作るの？

特別の教育課程を編成したい

子どもの日本語レベルを知りたい

小学校・中学校の先生方

いっしょに考えましょう！派遣要請してください！

▼ 外国につながりがある児童生徒お役立ち資料紹介

義務教育課では、外国につながりがある児童生徒の支援に活用できる資料を、ウェブページにより紹介しております。ぜひ、学校の実態に合わせて御活用ください。

学校からのお便りや連絡などがうまく伝わらず困っている先生方へ

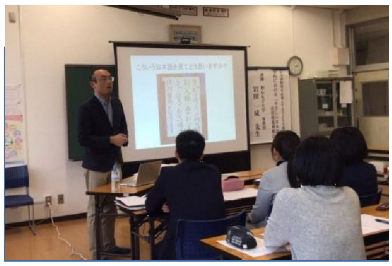
学校における「やさしい日本語」活用促進事業実施報告書

おたより等に生かせる「やさしい日本語」についての作成例などが載っています。

児童生徒や保護者に日本の学校について、どのように伝えたらよいか困っている先生方へ

ようこそ！日本の学校へ（フィリピノ語版）

日本の学校制度について、わかりやすく説明している多言語リーフレットです。

(1) 研修名称	「やさしい日本語」研修会 学校における「やさしい日本語」活用促進事業
(2) 研修の目的・狙い	教職員と外国人児童生徒等及びその保護者とのコミュニケーションを円滑にし、外国人児童生徒等の学校生活への早期適応、就学の定着、進学を促進するため、学校内における「やさしい日本語」の活用を進めるモデル事業を実施する。
(3) 研修の対象・人数	沼津市立第五小学校の学校職員、沼津市教育委員会指導主事等 焼津市立和田小学校の教職員、焼津市教育委員会指導主事等 各回 約25人
(4) 研修の方法	対面開催
(5) 周知・広報の方法	静岡県教育委員会 WEB 静岡県公立高等学校教職員等広報誌E−ジャーナル
(6) 研修の内容・構成	第1回：「やさしい日本語」の概念と効果、必要性、変換方法 第2回：書き言葉の演習 第3回：話し言葉の演習、「やさしい日本語」を活用した自動翻訳機利用方法
(7) 研修使用教材	「授業を変えるコトバとワザ」(2013) 森 篤嗣 くろしお出版 「外国につながる子どもたちと教育」(2017) 明治学院大学教養教育センター・社会学部編 かんよう出版 「学習言語とは何か」(2011) バトラー後藤裕子 三省堂
(8) 連携機関・団体	①聖心女子大学 教授 岩田 一成氏 ②静岡県多文化共生課 ③沼津市立第五小学校 ④沼津市教育委員会 ⑤焼津市立和田小学校 ⑥焼津市教育委員会
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	・モデル校での成果（「やさしい日本語」の有用性等）を、県教育委員会主催の会議、研修等（指導主事、支援員等対象）で紹介し、各市町における「やさしい日本語」の取組を促進した。 ・アドバイザーである聖心女子大学 教授 岩田 一成 氏監修の下、「やさしい日本語」事業実施内容を、報告書として取りまとめ静岡県教育委員会 WEB に掲載し、成果を波及した。  ＜研修の様子＞
(10) 担当部署	静岡県教育委員会義務教育課 ☎ 054-221-3143 ✉kyoui_gimu@pref.shizuoka.lg.jp

【事例10】社会福祉協議会子ども・学生向けやさしい日本語書き換え（東京都）

【取組事例】文京区社会福祉協議会「なつぼら2022」

開催概要

日　時　　令和４年８月６日　9時から15時（各回30分を4回に分けて実施）
場　所　　文京区民センター
参 加 者　　小学生から大学生　計18名

<プログラム>

A～Dコースに分かれ、①～③を順に体験
① ボランティア講座：30分　　講師：文京区社会福祉協議会職員
② やさしい日本語講座：30分　講師：東京都職員
③ ボランティア体験
（音訳・手話・エコボランティア・やさしい日本語）

※ やさしい日本語ブースでは、小・中・高校生以上と、レベル別の練習問題の書きかえに挑戦し、外国人ボランティアに内容を確認してもらうワークショップを実施

【取組事例】文京区社会福祉協議会「なつぼら2022」

○ボランティア体験 ～やさしい日本語に書きかえた文章を外国人ボランティアが確認～

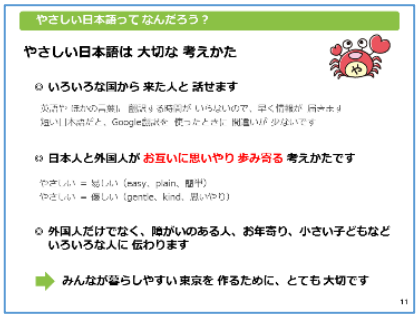
挑戦中。
漢字に ふりがなを ふっています。

外国人ボランティアの声
・わかりやすいです！
・きれいに書いてくれてありがとう
・日本の漫画をよく読むので、「ワクワクする」は、わかります

中国ルーツのボランティアの声
・実は中国では、正解の部分に✓を、間違えた部分に○をつけるんです。日本と違いますね。

16

※ 東京都つながり創生財団「第３回やさ日フォーラム」（令和５年２月21日）資料より

(1) 研修名称	文京区社会福祉協議会 「なつぼら 2022」やさしい日本語入門講座
(2) 研修の目的	ボランティア活動が体験できるプログラムをまとめたイベント「なつぼら 2022」において、これからの共助・共生社会に必要な考え方としてのやさしい日本語を子どもたちに紹介し、体験してもらう
(3) 研修の対象	20名（小学生8、中学生8、高校生2、大学生2）及び保護者6名
(4) 研修の方法	講義及び体験ワークショップ 会場：文京区社会福祉協議会ボランティア活動室
(5) 広報の方法	社協ホームページやチラシによる告知
(6) 研修の内容・構成	①講義（30分） ・やさしい日本語って なんだろう？（背景、ポイント、意義） ・探そう！身の回りの やさしい日本語（実践事例の紹介） ②体験ワークショップ（別会場） ・手話や音訳等と並んで活動体験ブースを設置 ・難易度別（小・中・高）の書き換え問題に挑戦 ・外国ルーツのボランティアと交流しながら添削・振り返り
(7) 研修使用教材	独自作成教材「やさしい日本語を つかおう」 （墨田区動画「やさしい日本語を使おう！」を含む）
(8) 連携機関・団体	文京区社会福祉協議会
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	・本研修は、文京区社会福祉協議会（文京ボランティア支援センター）がボランティアの裾野を広げるため、体験プログラムをまとめた「なつぼら 1Day プログラム」の一つとして実施した ・対象者が小学生・中学生を含んでいたため、講義は30分とコンパクトにまとめ、通常の研修よりも言葉づかいを平易にした ・受講者が飽きないよう、活用や書きかえの事例も子どもが親しみやすいものを選び、FC東京とのコラボ動画なども活用した ・体験ワークショップは「実際に目の前で見てもらえる」ことが参加者の高いモチベーションにつながり、好評であった ・外国ルーツの人々と子どもたちの交流という点でも意義があった  <研修資料>
(10) 担当部署	東京都 生活文化スポーツ局 都民生活部 地域活動推進課 ☎ 03-5320-7738 ✉ S1121202@section.metro.tokyo.jp

【事例11】「やさしい日本語」でポスターづくり（長野県）

ほしゅう 募集します

「やさしい日本語」で ポスターづくり

第１回　2022年７月31日（日）午前9時30分から12時まで
第２回　2022年８月10日（水）午後6時30分から9時まで

第１回・第２回は同じことをします

- オンライン（Microsoft Teams）です
- １回に参加できる人数は、外国人12人、日本人18人です
- 使う言葉は日本語です
- 「やさしい日本語」について勉強してから、外国人と日本人でいっしょにポスターを作ります

2022年７月18日（月・祝）までに
ながの電子申請サービス または **メール**で
申し込んでください

- 「やさしい日本語」とは

難しい言葉を簡単な言葉にしたり、長い文を短い文にしたりして、わかりやすくした日本語のことです。
外国人にも日本人にも伝わりやすいです。

- 教える人

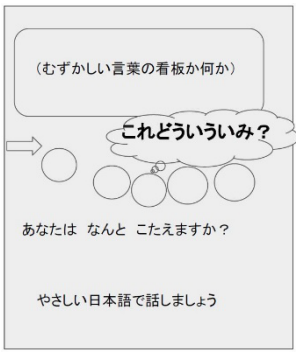
土井　佳彦 さん
NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会
代表理事
2011年の東日本大震災の時に「やさしい日本語」が便利であることと必要であることを感じる。
毎年、日本全国で「やさしい日本語」を広める活動をしている。

内容

このイベントは、長野県に住んでいる外国人と日本人が参加します。
はじめに「やさしい日本語」について勉強をします。次に、グループでポスターを作ります。
ポスターを作るときは、外国人も日本人も「やさしい日本語」で話すように気をつけます。
どんなポスターを作るかは話し合って決めます。
作ったポスターは、2023年７月の「長野県多文化共生推進月間」（※）のポスターになるかもしれません。
その時は、専門学校の学生がデザインを完成させます。

（※）外国人も日本人も住みやすい地域をつくるために、お互いのことを知って協力することを呼びかける１か月です。
表紙は2017年から2021年までのポスターです。

長野県、（公財）長野県国際化協会

(1) 研修名称	「やさしい日本語」でポスターづくり
(2) 研修の目的・狙い	「やさしい日本語」によるコミュニケーションを学ぶとともに、外国人・日本人が共同してポスター案を制作することで、実際に「やさしい日本語」を活用したコミュニケーションのきっかけづくりとする。 併せて、「長野県多文化共生推進月間」のポスター案の制作をとおして、県民の多文化共生の意識の醸成を図る。
(3) 研修の対象・人数	県民 28 名（外国人 14 名、日本人 14 名）
(4) 研修の方法	オンライン
(5) 周知・広報の方法	HP、関係者へのメール連絡・チラシ送付
(6) 研修の内容・構成	①講義 「やさしい日本語」の背景・理念 「やさしい日本語」にするためのルール 「やさしい日本語」の活用事例 ②ワークショップ 外国人と日本人混合のグループを作り、「やさしい日本語」でコミュニケーションを取りながらポスター案を作成する
(7) 研修使用教材	講師作成の資料
(8) 連携機関・団体	①（公財）長野県国際化協会（共催） ②NPO 多文化共生マネージャー全国協議会（講師） ③長野平青学園（参加について特に協力いただいた日本語教育機関）
(9) 研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	この研修は、ポスター案を作るという共同作業を通じて、外国人にも日本人にも「やさしい日本語」でのコミュニケーションを意識するきっかけにしてもらえるよう企画しました。 そのため、外国人と日本人が同じ内容を学び、共に作業する場を設定しました。例えば、前半の講義から外国人参加者にも入ってもらい、「やさしい日本語」やコミュニケーションにまつわる自身の経験を話してもらう場面をつくりました。 実施後のアンケートでは、参加者からは国籍を問わず一緒にワークショップに取り組めたことを評価する回答が見られました。  参加者の発表の様子とポスター案（↑→）
(10) 担当部署	長野県 県民文化部 文化政策課 多文化共生・パスポート室 ☎ 026-235-7173 ✉ tabunka@pref.nagano.lg.jp

【事例12】企業と連携した市民講座　コーディネーターが活躍する研修（神戸市）

神戸市やさしい日本語フォーラム 2022

1. 趣旨

日本人住民と外国人住民との間のコミュニケーションの潤滑油となるべき「やさしい日本語」の可能性について共に語り合う場を通じて、相互に多文化共生に関する理解を深め、人と人、コミュニティ間のつながりをより強めるきっかけとする。

2. 日時

2022 年 12 月 17 日(土) 13 時 30 分～16 時 30 分

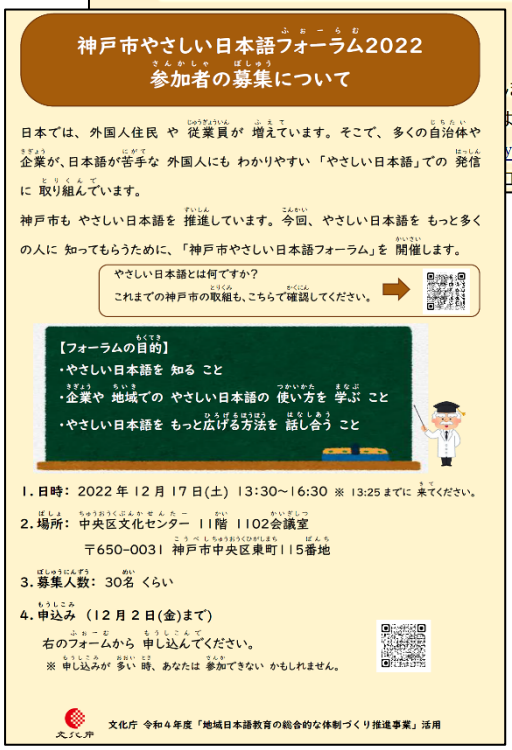
※ 現地参加の方は、13 時 25 分までに会場にお越しください。

3. 場所

中央区文化センター 11 階 1102 会議室（神戸市中央区東町 115 番地）

4. 当日プログラム(予定)

時間	内容	講師
13:30-14:00	講義「やさしい日本語とは」	岩田さん（聖心女子大学）
14:00-14:30	神戸市の取組の紹介	ダンさん（神戸市国際課） 尾形さん（公益財団法人神戸国際コミュニティセンター）
14:30-15:20	グループワーク① ・課題の共有 ・やさしい日本語の実践	岩田さん（聖心女子大学）
15:20-15:30	休憩	
15:30-15:40	企業における取組事例	親松さん（株式会社メルカリ）
15:40-15:50	JICE による支援プログラム	桑村さん、三原さん（一般財団法人日本国際協力センター関西支所）
15:50-16:40	グループワーク② ・やさしい日本語を広げるには	岩田さん（聖心女子大学）



神戸市やさしい日本語フォーラム2022
参加者の募集について

日本では、外国人住民や従業員が増えています。そこで、多くの自治体や企業が、日本語が苦手な外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」での発信に取り組んでいます。

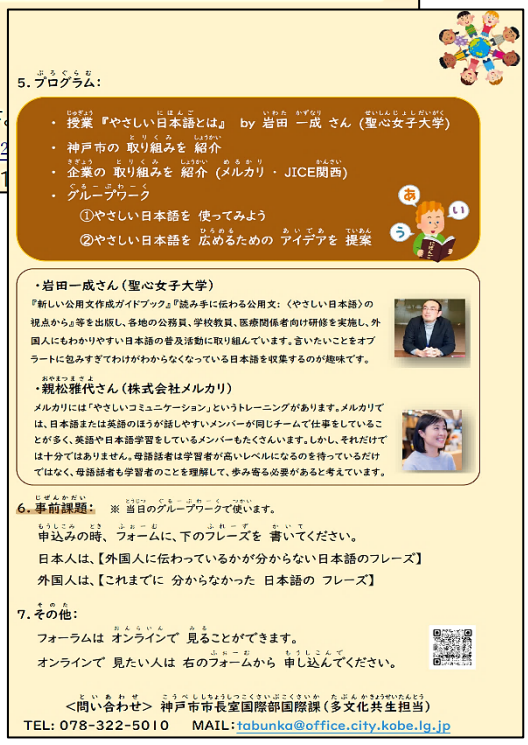
神戸市もやさしい日本語を推進しています。今回、やさしい日本語をもっと多くの人に知ってもらうために、「神戸市やさしい日本語フォーラム」を開催します。

やさしい日本語とは何ですか?
これまでの神戸市の取組も、こちらで確認してください。

【フォーラムの目的】
・やさしい日本語を知ること
・企業や地域でのやさしい日本語の使い方を学ぶこと
・やさしい日本語をもっと広げる方法を話し合うこと

1. 日時: 2022年12月17日(土) 13:30～16:30 ※ 13:25までに来てください。
2. 場所: 中央区文化センター 11階 1102会議室
〒650-0031 神戸市中央区東町115番地
3. 募集人数: 30名くらい
4. 申込み (12月2日(金)まで)
右のフォームから申し込んでください。
※ 申し込みが多い時、あなたは参加できないかもしれません。

文化庁 令和4年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用



5. プログラム:
・授業『やさしい日本語とは』 by 岩田 一成 さん（聖心女子大学）
・神戸市の取り組みを紹介
・企業の取り組みを紹介（メルカリ・JICE関西）
・グループワーク
①やさしい日本語を使ってみよう
②やさしい日本語を広めるための アイデアを提案

・岩田一成さん（聖心女子大学）
『新しい公用文作成ガイドブック』『読み手に伝わる公用文:（やさしい日本語）の視点から』等を出版し、各地の公務員、学校教員、医療関係者向け研修を実施し、外国人にもわかりやすい日本語の普及活動に取り組んでいます。言いたいことをオブラートに包みすぎてわけがわからなくなっている日本語を収集するのが趣味です。

・親松雅代さん（株式会社メルカリ）
メルカリには「やさしいコミュニケーション」というトレーニングがあります。メルカリでは、日本語または英語のほうが話しやすいメンバーが同じチームで仕事をしていることが多く、英語や日本語学習をしているメンバーもたくさんいます。しかし、それだけでは十分ではありません。母語話者は学習者が高いレベルになるのを待っているだけではなく、母語話者も学習者のことを理解して、歩み寄る必要があると考えています。

6. 事前課題: ※ 当日のグループワークで使います。
申込みの時、フォームに、下のフレーズを書いてください。
日本人は、【外国人に伝わっているかが分からない日本語のフレーズ】
外国人は、【これまでに分からなかった日本語のフレーズ】

7. その他:
フォーラムはオンラインで見ることができます。
オンラインで見たい人は右のフォームから申し込んでください。

<問い合わせ> 神戸市市長室国際部国際課（多文化共生担当）
TEL: 078-322-5010　MAIL: tabunka@office.city.kobe.lg.jp

(1) 研修名称	神戸市やさしい日本語フォーラム 2022
(2) 研修の目的・狙い	・ やさしい日本語に関わっている方々とのネットワークを作ること。 ・ 様々の立場（一般、企業、神戸市他公的機関）からやさしい日本語の特徴を考えること。 ・ 外国人の特徴を知ること。 ・ 社会に浸透させるためのアイデアを収集すること。
(3) 研修の対象・人数	・ 一般市民、外国人市民 ・ 外国人雇用企業、教育機関、行政職員、外国人支援団体 ・ 対面参加人数：15 名、オンライン視聴：17 名
(4) 研修の方法	ハイブリッド開催（オンラインは視聴のみ）
(5) 周知・広報の方法	神戸市ホームページ・SNS、関係機関・関係者への個別案内
(6) 研修の内容・構成	① 有識者によるやさしい日本語の特徴・重要性・効果の紹介 ② 神戸市のやさしい日本語事業と日本語学習支援の取組状況の紹介 ③ ワークショップ形式によるやさしい日本語の実践 ④ 企業・公的機関における取組の紹介 ⑤ ワークショップ形式で、やさしい日本語の浸透に向けたアイデア提案
(7) 研修使用教材	登壇者が用意
(8) 連携機関・団体	① 岩田 一成氏（聖心女子大学 現代教養学部日本語日本文化学科教授） ② 親松 雅代氏（㈱メルカリ Language Education Team マネージャー・やさしい日本語トレーナー） ③ (一財)日本国際協力センター（JICE） ④ 市内でやさしい日本語に取り組む日本語教師（4名）
(9) 研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	・ やさしい日本語への理解を深めるため、様々な分野での取り組みを共有すること ・ 外国人のニーズを知るため、直接外国人の意見を聞ける場とすること ・ やさしい日本語に取り組む日本語教師がワークショップや話し合いのファシリテーターとして参加して、経験や知識を共有しながら、参加者の発言を促すこと <研修の様子>
(10) 担当部署	神戸市市長室国際部国際課 ☏ 078-322-5010 ✉ tabunka@office.city.kobe.lg.jp

【事例13】図書館が実施するやさしい日本語講座 （大分県）

大分県立図書館主催事業「外国人とのコミュニケーション拡大事業」

「やさしい日本語」学習会

「日本語を話す人」に知ってほしい日本語です

「やさしい日本語」を使って、文章を書いたり、会話をしたりしてみませんか？

日　時	令和４年８月２１日（日） 13:00~15:30　（12:30~受付）
会　場	大分県立図書館　１階　第２・３研修室 （大分市王子西町１４番１号）
講　師	本田　明子　氏 立命館アジア太平洋大学言語教育センター長・教授
内　容	○『やさしい日本語』への書き換え」 ○『やさしい日本語』で話してみよう」　定　員　20名
申し込み方法	氏名・住所・電話番号・メールアドレス(任意)を、 ①～③の方法でお申し込みください ①メール（gakkou@ms1.oita-library.jp） ※「ms」の次は数字の「1」 ②FAX 097-546-9985 ③電話 097-546-9975※：平日の9:00~17:00 申込先：大分県立図書館　学校・地域支援課
問い合せ	大分県立図書館 学校・地域支援課　☎ 097-546-9975

○「やさしい日本語」についての動画を公開中！視聴して受講するとより効果的です。

「まなびの広場おおいた」ホームページ http://manabi.oita-ed.jp

まなびの広場おおいた　QRコード

○9月25日(日)に、「やさしい日本語」を使った、日本人と外国人の交流会を行います。ぜひご参加ください。(別途お知らせします。)

○不織布マスクの着用及び手指の消毒をお願いします。発熱や体調不良がある方は参加できません。
○新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、内容を変更する場合があります。その場合はお知らせします。
○駐車場は、県立図書館駐車場を利用ください。可能な限り乗合わせ又は公共交通機関の利用をお願いします。
○以下のことをご了承ください。
・学習会の様子を撮影し、新聞や県立図書館のホームページ・広報誌等で公開すること
・学習会の様子を撮影し、テレビで放送したり、インターネットで公開したりすること

本事業は、自治体国際化協会(CLAIR)の助成を受けて実施しています　一般財団法人 自治体国際化協会

大分県立図書館主催事業「外国人とのコミュニケーション拡大事業」

「やさしい日本語」交流会

「やさしい日本語」を使う日本人と、外国人との交流会をします

日と時間	2022年９月２５日（日曜日）午後１時から午後３時まで ※午後0時30分から　受け付けを　します。午後0時55分まで　来て　ください。
場所	大分県立図書館　１階　第２・３研修室 （大分市王子西町１４番１号）　Google Map　QRコード→
内容（すること）	○日本人と外国人が交流します。ゲームを　します。話を　します。 ○日本人は「やさしい日本語」を　話します。 ○外国人は自分が話すことができる日本語を　話します。 お金はいりません！ 指導　森川 寿子　氏（(一財)自治体国際化協会(CLAIR)認定　多文化共生マネージャー） 助言　本田 明子　氏（立命館アジア太平洋大学言語教育センター長・教授）
対象（来て　ほしい　人）	○日本人と日本語で交流したい外国人 ○外国人と交流したい日本人 ○「やさしい日本語」に関心がある日本人 定員（参加できる人の数）　外国人:20人　日本人:20人
申し込む方法	名前・住所・電話番号・メールアドレスを、①～④の方法で申し込んで　ください ①QRコード（右の QRコードを 読み取って ください） ②メール(gakkou@ms1.oita-library.jp)　※「ms」の次は 数字の「1」です ③FAX 097-546-9985 ④電話　097-546-9975　※月曜日から 金曜日の 午前9時から 午後5時まで
問い合せ	大分県立図書館 学校・地域支援課 ☎ 097-546-9975

○不織布マスクを　つけて　ください。手の　消毒を　してください。熱が　ある人は　参加できません。
○新型コロナの　感染の　ようすが　ひどくなった　ときは、内容を　変えるかも　しれません。その時は　電話や　メールで　知らせます。
○写真を　撮って、新聞や　県立図書館の　ホームページで　公開することが　あります。
○動画を　撮って、テレビで放送することや、ホームページで　公開することが　あります。

○「やさしい日本語」の 動画を 公開しています。動画を　見て　参加すると　とても　わかりやすい　です。

「まなびの広場おおいた」ホームページ http://manabi.oita-ed.jp

まなびの広場おおいた　QRコード

本事業は、自治体国際化協会(CLAIR)の助成を受けて実施しています　一般財団法人 自治体国際化協会

大分県立図書館主催事業「外国人とのコミュニケーション拡大事業」

「やさしい日本語」学習会

「日本語を話す人」に知ってほしい日本語です

「やさしい日本語」を使って、文章を書いたり、会話をしたりしてみませんか？

日　時	令和４年９月４日（日） 13:00~15:30　（12:30~受付）
会　場	宇佐市駅川公民館　集会室 （宇佐市大字法鏡寺２２４番地）
講　師	本田　明子　氏 立命館アジア太平洋大学言語教育センター長・教授
内　容	○『やさしい日本語』への書き換え」 ○『やさしい日本語』で話してみよう」　定　員　20名
申し込み方法	氏名・住所・電話番号・メールアドレス(任意)を、 ①～③の方法でお申し込みください ①メール（gakkou@ms1.oita-library.jp） ※「ms」の次は数字の「1」 ②FAX 097-546-9985 ③電話 097-546-9975※：平日の9:00~17:00 申込先：大分県立図書館　学校・地域支援課
問い合せ	大分県立図書館 学校・地域支援課　☎ 097-546-9975

○「やさしい日本語」についての動画を公開中！視聴して受講するとより効果的です。

「まなびの広場おおいた」ホームページ http://manabi.oita-ed.jp

まなびの広場おおいた　QRコード

○11月13日(日)に、「やさしい日本語」を使った、日本人と外国人の交流会を行います。ぜひご参加ください。(別途お知らせします。)

○不織布マスクの着用及び手指の消毒をお願いします。発熱や体調不良がある方は参加できません。
○新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、内容を変更する場合があります。その場合はお知らせします。
○駐車場は、県立図書館駐車場を利用ください。可能な限り乗合わせ又は公共交通機関の利用をお願いします。
○以下のことをご了承ください。
・学習会の様子を撮影し、新聞や県立図書館のホームページ・広報誌等で公開すること
・学習会の様子を撮影し、テレビで放送したり、インターネットで公開したりすること

本事業は、自治体国際化協会(CLAIR)の助成を受けて実施しています　一般財団法人 自治体国際化協会

大分県立図書館主催事業「外国人とのコミュニケーション拡大事業」

「やさしい日本語」交流会

「やさしい日本語」を使う日本人と、外国人との交流会をします

日と時間	2022年１１月１３日（日曜日）午後１時から午後３時まで ※午後0時30分から　受け付けを　します。午後0時55分まで　来て　ください。
場所	宇佐市駅川公民館　集会室 （宇佐市大字法鏡寺224番地）　Google Map　QRコード→
内容（すること）	○日本人と外国人が交流します。ゲームを　します。話を　します。 ○日本人は「やさしい日本語」を　話します。 ○外国人は自分が話すことができる日本語を　話します。 お金はいりません！ 指導　森川 寿子　氏（(一財)自治体国際化協会(CLAIR)認定　多文化共生マネージャー） 助言　本田 明子　氏（立命館アジア太平洋大学言語教育センター長・教授）
対象（来て　ほしい　人）	○日本人と日本語で交流したい外国人 ○外国人と交流したい日本人 ○「やさしい日本語」に関心がある日本人 定員（参加できる人の数）　外国人:20人　日本人:20人
申し込む方法	名前・住所・電話番号・メールアドレスを、①～④の方法で申し込んで　ください ①QRコード（右の QRコードを 読み取って ください） ②メール（gakkou@ms1.oita-library.jp）※「ms」の次は 数字の「1」です ③FAX 097-546-9985 ④電話　097-546-9975　※月曜日から 金曜日の 午前9時から 午後5時まで
問い合せ	大分県立図書館 学校・地域支援課 ☎ 097-546-9975

○不織布マスクを　つけて　ください。手の　消毒を　してください。熱が　ある人は　参加できません。
○新型コロナの　感染の　ようすが　ひどくなった　ときは、内容を　変えるかも　しれません。その時は　電話や　メールで　知らせます。
○写真を　撮って、新聞や　県立図書館の　ホームページで　公開することが　あります。
○動画を　撮って、テレビで放送することや、ホームページで　公開することが　あります。

○「やさしい日本語」の 動画を 公開しています。動画を　見て　参加すると　とても　わかりやすい　です。

「まなびの広場おおいた」ホームページ http://manabi.oita-ed.jp

まなびの広場おおいた　QRコード

本事業は、自治体国際化協会(CLAIR)の助成を受けて実施しています　一般財団法人 自治体国際化協会

(1) 研修名称	「やさしい日本語」学習会」／「やさしい日本語」交流会
(2) 研修の目的・狙い	県内在住外国人と地域住民とのコミュニケーションの拡大を目的とした、社会教育施設を核とした「やさしい日本語」の普及や交流活動の推進。 <学習会> 「やさしい日本語」の基礎や話し方、書き方について学習する機会の提供及び相手に応じた言葉の選び方や伝え方を工夫する人材の育成。 <交流会> 「やさしい日本語」を使った外国人との交流機会の設定による、これまでの学習成果の実践及び今後の交流拡大や地域づくり活動への始点。
(3) 研修の対象・人数	<学習会>「やさしい日本語」に興味関心をもつ一般市民 （企業関係者、日本語教室関係者、学校関係者、行政職員　等） 参加者：大分市18名、宇佐市21名 <交流会>上記学習会参加者をはじめとする一般市民、在住外国人 参加者：大分市18名（日本人10名、外国人8名） 宇佐市15名（日本人9名、外国人6名）
(4) 研修の方法	対面
(5) 周知・広報の方法	チラシ配布・ポスター掲示（県立図書館、開催市公民館・図書館等） HP、Twitter、Facebook、関係団体へのメール連絡
(6) 研修の内容・構成	<学習会> ○講義・演習「『やさしい日本語』に書き換える」 ○ロールプレイ「『やさしい日本語』で話してみよう」 講師　立命館アジア太平洋大学言語教育センター長　本田　明子　氏 <交流会> ○交流「ヒューマンビンゴ」「共通点探し」「『やさしい日本語』クイズ」 講師　多文化共生マネージャー　森川　寿子　氏 助言　立命館アジア太平洋大学言語教育センター長　本田　明子　氏
(7) 研修使用教材	○開始前・幕間に、動画「『やさしい日本語』でコミュニケーション」（大分県立図書館作成）を上映 ○「『やさしい日本語』リーフレット」「『やさしい日本語』クリアファイル」（大分県立図書館作成）を配布 ○学習会では、講師が動画「やさしい日本語にはゆめがあります」（やさしい日本語ツーリズム研究会）を紹介
(8) 連携機関・団体	○大分市教育委員会社会教育課、大分市企画部国際課（募集） ○宇佐市教育委員会社会教育課、宇佐市総務部秘書広報課（募集） ○立命館アジア太平洋大学（講師、留学生の参加）
(9) 研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	○学習会→交流会と連続開催することによる、「やさしい日本語」の有効性・必要性の認識 ○「やさしい日本語」の普及をサポートできる人材の育成（前年度までの参加者が「『やさしい日本語』サポーター」として参加） <学習会>　　<交流会>
(10) 担当部署	大分県立図書館　学校・地域支援課　地域学習支援担当(黒木) ☎ 097-546-9975、FAX:097-546-9985 ✉ kuroki-tetsuya@pref.oita.lg.jp

【事例14】窓口職員向け機械翻訳×やさしい日本語コミュニケーション研修（静岡県）

講演会・講習会・イベントのお知らせ

【7/29東部会場】行政職員向け外国人コミュニケーション研修を開催します！

県民生活局多文化共生課

1.時期　令和4年7月29日（金） 午後 1時30分 ～ 午後 3時30分

2.会場　東部総合庁舎

3.主催　多文化共生課

4.問い合わせ先　多文化共生課

5.問い合わせ電話番号　221-2178

【 概 要 】

「やさしい日本語」を知っていますか？
「やさしい日本語」は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

「外国人県民コミュニケーション研修」では、「やさしい日本語」の基礎知識や、機械翻訳を用いた外国人とのコミュニケーションの手法などを、
サステナブルタウンの萩元先生を招き、わかりやすく説明します。

参加者には「やさ日富士夫くんバッジ」をお渡しします！ →

今回は、東部会場（東部総合庁舎）での開催です。
開催日　：**7月29日（金）**
申込み期限：**7月15日（金）**
下記URLまたはQRコードからお申込ください！↓↓
https://s-kantan.jp/pref-shizuoka-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=6539

※庁内掲示版へのお知らせ

(1) 研修名称	行政職員向け外国人県民コミュニケーション研修
(2) 研修の目的・狙い	県や市町職員等が、「やさしい日本語」及び多言語を使用して行政情報を発信し、外国人県民とコミュニケーションを図るために必要な知識を学ぶ。
(3) 研修の対象・人数	県・市町行政職員、教育委員会教職員、警察職員等 会場規模に合わせて 20～50 名程度
(4) 研修の方法	対面（県内複数箇所）
(5) 周知・広報の方法	関係者へのメール連絡、庁内掲示板への掲載
(6) 研修の内容・構成	①ユニバーサルデザイン、ダイバーシティ&インクルージョンの考え方 ②やさしい日本語の使い方のポイント ③やさしい日本語と機械翻訳の親和性 ④多言語音声翻訳アプリの使い方
(7) 研修使用教材	講師独自教材 静岡県「やさしい日本語」の手引き
(8) 連携機関・団体	特になし
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	やさしい日本語を UD（ユニバーサルデザイン）の取組の一環として位置づけ、地域の共通言語としてのやさしい日本語の必要性について伝えた。 また、翻訳アプリを実際に使いながら、やさしい日本語と機械翻訳の親和性や有効性を体感してもらった。 外国人対応を行う際、通訳者不在でもやさしい日本語や多言語音声翻訳等を使ってコミュニケーションを取るための動機づけになるよう工夫した。 ＜会場の様子＞ うまく翻訳されない時は ① 敬語は止めよう！ 「いたしました」 「ございます」 「～になります」 NG！ 「です」「ます」調で話す！ 例 「お釣りになります」⇒× 「お釣りです」⇒○ ＜資料の一部＞
(10) 担当部署	静岡県　多文化共生課 ☎ 054-221-2178　✉tabunka@pref.shizuoka.lg.jp

【事例15】大学生と実施する区職員向け話し言葉のやさしい日本語研修（東京都）

令和3年度 特別研修 グローバル社会における自治体政策 Part4

やさしい日本語【話し言葉編】

豊島区民のうち外国籍の方の割合は全体の約 9%を占め、出身国・地域は 100 を超えています。こうした方々と接する場面や情報を届ける機会が増える中、すべての言語に対応するには限界があります。

「やさしい日本語」は新たな言語として外国籍等区民だけではなく、子ども、高齢者、障害者とのコミュニケーションでも使えるわかりやすい言葉として広がりを見せています。

今回は、昨年度実施した【書き言葉編】に続いて、【話し言葉編】を実施します。

講師

明治大学 国際日本学部 教授

明治大学

山脇 啓造（やまわき けいぞう） 氏＆ 山脇ゼミ生の皆さん

◆総務省「多文化共生の推進に関する研究会」座長

◆法務省「在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインに関する有識者会議」座長

日時 12 月20日(月) 13:30～14:30/15:00～16:00（2回実施）

場所 議員協議会室

対象 希望する職員

（常勤職員※管理職含む・会計年度任用職員・派遣職員 等）各回 40 名

やさしい日本語による会話 とは？

日本人どうしが使っている会話よりも簡単で、日本語能力が十分でない外国人等にもわかりやすいように配慮した日本語。 ゆっくり話し、相手が理解しているかを確認しながら話すことが重要です。
“伝わりやすく” 情報を伝えることで、受けての理解、適切な行動に繋がります！

ふつうの日本語	やさしい日本語
「いつ日本にいらっしゃいましたか。」	「いつ　日本に　来ましたか。」
「ご不明な点や質問などがありましたら、おっしゃってください。」	「わからなかったら　聞いてください。」

申込み等

●「研修申込表(やさしい日本語)」へ受講者のご入力をお願いします。【12月13 日(月)まで】 先着順です。

Z:¥3 年度交換フォルダー¥001001 企画課¥今月分¥多文化共生推進 G¥職員研修申込¥研修申込表「やさしい日本語」【話し言葉編】.xlsx

●服務：研修扱い

●その他：研修受講通知書は省略します。

プレスリリースを行うため、報道関係者が入る可能性があります。

問い合わせ 企画課多文化共生推進グループ 03-3981-1782(直通) または 内線2517

(1) 研修名称	やさしい日本語 【話し言葉編】
(2) 研修の目的・狙い	豊島区における外国籍区民は全人口の約 1 割を占め、国籍も 100 以上の国・地域と多国籍化しており、全ての言語に対応することは困難な状況です。 その中で、外国籍区民だけでなく、子ども、高齢者、障害者とのコミュニケーションでも活用することができる「やさしい日本語」を職員に周知し、区の情報を伝えるための手段の一つとして各職場において積極的に活用してもらうためにこの研修を企画しました。
(3) 研修の対象・人数	対象：区職員、派遣職員等問わず区役所で働いている方 定員：各回 40 名（同じ内容を 2 回実施）
(4) 研修の方法	新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて対面で実施
(5) 周知・広報の方法	研修案内を全庁にメールで送付。 また、外部向けにプレスリリースを行うと同時に区の HP にも掲載。
(6) 研修の内容・構成	①やさしい日本語普及の背景 国・自治体・山脇ゼミにおける取り組み紹介 ②やさしい日本語の基礎講座、実践演習
(7) 研修使用教材	①多文化共生とやさしい日本語 （明治大学 山脇啓造教授） やさしい日本語ラップ「やさしい せかい」 （やさしい日本語ツーリズム研究会） ②やさしい日本語ワークショップ・やさしい日本語ワークシート （明治大学国際日本学部）
(8) 連携機関・団体	明治大学国際日本学部 山脇啓造教授および山脇ゼミの学生
(9) 研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	本研修は令和2年度に実施した「やさしい日本語【書き言葉編】」に続く、令和3年度明治大学による2回目の研修でした。コロナ禍の制限がある中でしたが、やさしい日本語の第一人者である山脇教授とそのゼミ生をお招きし、演習を通じてやさしい日本語に触れる機会を設けました。受講者のアンケート結果を見ると研修内容の理解度・満足度ともに高く、職場に持ち帰って早速実務に活かしているという声もありました。 <研修の様子>
(10) 担当部署	豊島区企画課多文化共生推進グループ ☏ 03−3981−1782 ✉ A0050004@city.toshima.lg.jp

【事例16】文化施設職員向け「やさしい日本語で話そう」研修（東京都）

【取組事例】新宿文化センター　職員向け研修

開催概要

日　時　　令和４年9月13日　13時30分から15時
場　所　　新宿区立新宿文化センター
参 加 者　　新宿文化センター職員13名・東京芸術劇場2名
新宿区内の日本語学校より　外国人2名参加　日本語レベル：N4～N5
・フランス出身の方　2021年12月来日
・スリランカ出身の方　2022年３月来日
＋学校長、引率の先生

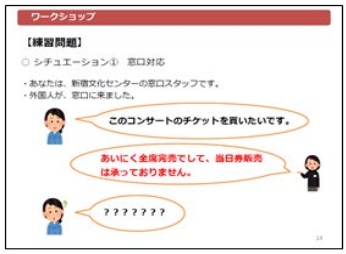
＜プログラム＞

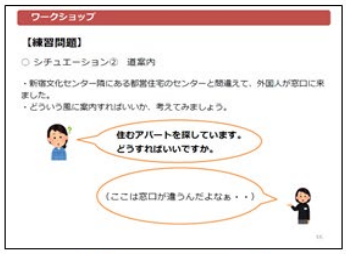
○　**やさしい日本語の概要～3月に実施した基礎研修のおさらい～**

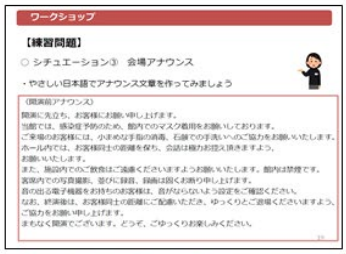
○　**グループワーク「やさしい日本語で話そう」**
・自己紹介
・シチュエーション①：窓口対応（チケット販売）
・シチュエーション②：道案内
・シチュエーション③：劇場アナウンス
グループで発表、外国人2名にわかりやすさを確認してもらう

11

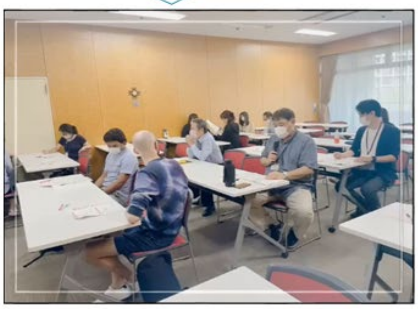
【取組事例】新宿文化センター　職員向け研修







わかりやすさを確認



12

※ 東京都つながり創生財団「第３回やさ日フォーラム」（令和５年２月21日）資料より

(1) 研修名称	新宿文化センター 「やさしい日本語」職員研修
(2) 研修の目的	新宿文化センターがある新宿区は外国人が多く住んでいることから、外国人からの問い合わせを受けることがある。また劇場は外国にルーツを持つ人を含め、様々な人々が集まる場所である。こういった状況を踏まえ、職員の「やさしい日本語」の活用を促進することで、外国人来館者等への対応力を向上させる。
(3) 研修の対象	新宿区立新宿文化センター（（指定管理者：（公財）新宿未来創造財団））職員　十数名
(4) 研修の方法	対面
(5) 広報の方法	新宿文化センターによる研修対象者職員への呼びかけ
(6) 研修の内容・構成	2回に分けて実施（1回目は講義、2回目はワーク中心） <1回目> ①講義 ・やさしい日本語の概要（普及の背景、ポイント、意義） ・各分野における実践事例の紹介 ・文化事業とやさしい日本語 ・やさしい日本語の注意点 ②書き換え練習 <2回目> ①1回目のおさらい ②ワークショップ（グループワーク） ・やさしい日本語で自己紹介 ・シチュエーション別練習（窓口対応・道案内・劇場アナウンス） ※グループで発表し、外国人2名に分かりやすさを確認してもらう
(7) 研修使用教材	・「やさしい日本語と多文化共生の推進」（東京都作成研修資料） ・「やさしい日本語で話そう」（東京都作成研修資料） ・「やさしい日本語を使おう！」（墨田区作成動画）
(8) 連携機関・団体	①公益財団法人未来創造財団 ②新宿区内の日本語学校
(9) 研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	・実際に外国人対応の多い現場における研修であることから、ワークショップでは実際のセンターの周辺地図なども用いるなど、実践的な内容となるように工夫した ・外国にルーツを持つ方2名（フランス人とスリランカ人、日本語レベルがN4～N5程度）に参加してもらい、窓口対応、道案内、劇場アナウンスといった場面ごとに、グループワークで作ったやさしい日本語の分かりやすさを確認してもらった ・この形式は、当事者の意見を聞きながらその場で表現が通じるか確認できたことに加え、参加職員のモチベーション向上にもつながり、非常に好評であった
(10) 担当部署	東京都生活文化スポーツ局都民生活部地域活動推進課 ☎ 03-5320-7738 ✉ S1121202@section.metro.tokyo.jp

【事例17】小学生向けやさしい日本語出前講座（愛知県豊川市）

令和４年度

豊川市生涯学習まちづくり出前講座

©いなりん

■出前講座とは、市が行っている仕事の中で、市民のみなさんが「知りたい」、「聞きたい」と思っている内容について、担当する職員が出向いてお話をさせていただくものです。

■ご利用いただけるのは、原則として市内に在住・在勤・在学のおおむね１０人以上で構成された団体やグループです。ただし政治・宗教活動や営利目的の催しなどは除きます。

■会場は原則市内とし、お申し込みいただく団体・グループでご手配をお願いいたします。

■費用は、教材が必要なものを除き無料です。グループの例会、勉強会などでお気軽にご利用ください。

■出前講座のお申し込みは、各担当課へ直接お願いします。

豊川市教育委員会生涯学習

「令和4年度　豊川市生涯学習まちづくり出前講座」 安全・安心・防災

No.	講座名	内　容	所要時間（分）	担当課
72	やさしい日本語って何？	やさしい日本語（普段使われている日本語を外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語）の使い方や用例を紹介します。	６０	市民協働国際課 直接　89-2158

〈市ホームページ掲載 URL〉
https://www.city.toyokawa.lg.jp/saijibunka/aoinomon/demaekouza.files/R4.4.1.pdf

(1) 研修名称	やさしい日本語出前講座
(2) 研修の目的・狙い	外国籍住民の増加に伴い、小学校でも外国籍児童が増えている現状から、「やさしい日本語」を使い日本語を母語としないクラスメイトと話すことの大切さや、多文化共生への理解を深める。
(3) 研修の対象・人数	児童クラブに所属する小学生計 60 名※同一内容を2回に分けて実施
(4) 研修の方法	対面開催
(5) 周知・広報の方法	豊川市生涯学習まちづくり出前講座に掲載し、市ホームページ等で周知するとともに、児童クラブ職員へ個別に提案した。
(6) 研修の内容・構成	①豊川市の外国籍住民数について ②異文化理解、多文化共生理解 ③やさしい日本語を使う大切さ、使うときのポイント ④英語絵本の読み聞かせ
(7) 研修使用教材	・在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン （出入国在留管理庁・文化庁） ・やさしい日本語の手引き～外国人に伝わる日本語～（愛知県） ・はがぬけたらどうするの？せかいのこどもたちのはなし(フレーベル館)
(8) 連携機関・団体	豊川市生涯学習課、子育て支援課
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	これまで大人向けに実施していた内容を小学生向けに一新し、子ども達が楽しく学べるよう工夫した。 今回の対象は小学校低学年で、普段使っている言葉が「やさしい日本語」に近いため、なぜ「やさしい日本語」が必要なのか、外国人とは違いもある一方で共通している部分も多いことに気付いてもらい、異文化理解、多文化共生の理解を深めることに重点をおいた。 また、興味を持ちやすいようにスケッチブックを使い、紙芝居形式で進めるなど視覚教材を多用したり、クイズ形式で進めたことで、予想以上に積極的に意見が出され、とても盛り上がった。最後には児童になじみのある日本の昔話を英語で読み聞かせ、言語にも興味を持ってもらうなど多方面からアプローチを行った。 当初、低学年には少し難しい内容かと思ったが、身の回りの事を例に用いたことで、外国人とコミュニケーションを取ることや、「やさしい日本語」を使うことを、身近なこととしてとらえることができ、自ら気付き、考え意見するといった成果が得られ、多文化共生への理解が深まった。 <研修の様子>
(10) 担当部署	愛知県豊川市　市民部市民協働国際課 ☎0533-89-2158　✉kyodokokusai@city.toyokawa.lg.jp

【事例18】やさしい日本語講座（観光・接客編）（島根県雲南広域連合）

雲南広域連合　地域づくり研修事業

やさしい日本語講座
（観光・接客編）

雲南地域には約 350 人の外国人の方がお住まいです。また、島根県全体では9,000人弱の方がお住まいです。外国人の方が観光地やお店に来て困っていたとき、どのように話しかけたらいいでしょう？　円滑なコミュニケーションのために‘やさしい日本語’を使うコツを学んで、実践していきましょう！

記

1、日時　令和4年 10 月 11 日(火)10:00～11:30

2、会場　奥出雲サイクリングターミナル(奥出雲町三成 558-6)

3、講師　一般社団法人ダイバーシティうんなん toiro
　代表理事　芝　由紀子さん

4、内容　①講義　観光・接客時の「みんなにやさしいコミュニケーション」について考える
　②ワーク やさしい日本語 語彙・短文練習、応用練習

5、その他　どなたでもご参加いただけます。
　※定員 20 名(先着順)

申込〆切:9 月 26 日(月)17:00

【問合せ先】
雲南広域連合企画課　メール　unnankouiki@unnan.jp
電話(0854)47-7341　ファックス(0854)47-7344

＜研修資料の一部＞

☆やさしい日本語のコツ！

「はさみの法則」

①はっきり言う

②さいごまでいう

③みじかく言う

＊言い方に柔らかさをプラス！

＜やさしいにほんごでうんなんツアー＞

「やさしい日本語」「交流型の活動」で日本人と外国人がつながる

(1) 研修名称	やさしい日本語講座（観光・接客編）
(2) 研修の目的・狙い	地域内の観光に従事する団体・組織の職員や地域事業者を対象に、接客対応を中心とした「やさしい日本語」について学びを深める。
(3) 研修の対象・人数	行政の観光担当職員、観光協会職員、民間事業者　18 名
(4) 研修の方法	対面開催
(5) 周知・広報の方法	HP、関係者へのメール連絡、観光協会から会員事業者へ連絡
(6) 研修の内容・構成	①講義：「やさしい日本語」の概要（必要性と対象者） ②ワーク：「やさしい日本語」を使ってみよう（基礎・言い換え練習） ③「やさしいコミュニケーション」について考える
(7) 研修使用教材	（やさしい日本語ツーリズム研究会）動画 ・Youtube「やさしい日本語（にほんご）には、ゆめが　あります。」
(8) 連携機関・団体	・観光協会（周知） ・一般社団法人ダイバーシティうんなん toiro（実施）
(9) 研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	・観光案内所に勤務する観光協会職員や、接客を必要とする事業者に対し、個別に参加を呼び掛けた。 ・「やさしい日本語」を身に付けるだけでなく、「やさしい日本語」の存在自体を認知してもらうきっかけづくりという点を意識した。 ・参加者からは「日本語なのにどう伝えていいか分からない」、「やさしい言い変えができない」という声が聞かれ、普段から意識しておくことが重要だと体感してもらうことができた。 ・事後アンケートからは、「外国人とのコミュニケーションに必要なのは、英語力よりも日本語で丁寧に伝えることだと理解した」との回答が複数みられた。 <①講義の様子>　<②ワークを踏まえた実践の様子>
(10) 担当部署	島根県雲南広域連合（雲南市・奥出雲町・飯南町）　企画課 ☏ 0854-47-7341　✉ unnankouiki@unnan.jp）

【事例19】思いやりのパス！スポーツチーム・ボランティア向け研修（東京都）

【取組事例】FC東京とのコラボレーション

開催概要

日　時	令和４年７月17日　12時30分から13時30分
場　所	味の素スタジアム　記者会見室
参 加 者	FC東京チームスタッフ・スポーツボランティア　約40名

<研修開催の背景>

・ サッカーJリーグにおいても近年外国人観客が増えており、FC東京のチームスタッフやスポーツボランティアもスタジアムに来場する様々な人々へのおもてなしに対する関心が高くなっている

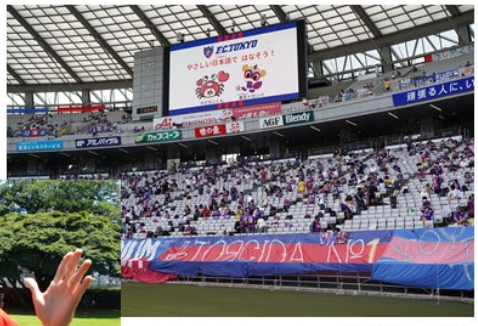
<研修からコラボへ>

・ 研修を実施したことで、スタジアムにおける やさしい日本語の普及啓発イベント実施につながった

画像提供：FC東京

18

【取組事例】FC東京とのコラボレーション



画像提供：FC東京

FC東京とコラボして作成した動画はYouTubeで公開し、国際交流協会から研修に活用したいという申し出も

動画はこちらからご覧ください➡

19

※ 東京都つながり創生財団「第３回やさ日フォーラム」（令和５年２月21日）資料より

(1) 研修名称	FC東京　チームスタッフ・スポーツボランティア研修
(2) 研修の目的	FC東京のチームスタッフ及びスポーツボランティアの多文化共生に関する理解と以下の対応力の向上 ・Jリーグのスタジアムにおける外国人観客への対応 ・FC 東京のホームタウン東京都における、外国人住民の増加と地域の多様化等への対応
(3) 研修の対象	FC東京チームスタッフ FC東京・スポーツボランティア 合計約40名
(4) 研修の方法	講義型対面研修 会場：味の素スタジアム（FC東京のホームスタジアム）
(5) 広報の方法	FC東京から各部門スタッフ及びスポーツボランティアへの呼びかけ
(6) 研修の内容・構成	①講義 ・やさしい日本語の概要（普及の背景、ポイント、意義） ・各分野における実践事例の紹介 ・やさしい日本語の注意点 ②書き換え練習
(7) 研修使用教材	「やさしい日本語と多文化共生の推進」（東京都作成研修資料）
(8) 連携機関・団体	① FC東京 ② FC東京・スポーツボランティア
(9) 研修のポイント （特に意識したこと、効果・成果）	・本研修は、東京都とFC東京が連携して実施するやさしい日本語普及啓発事業の一環として実施した ・研修では、チームスタッフ及びスポーツボランティアにやさしい日本語の基礎知識を理解してもらうことを重視し、書きかえ練習の題材も「サッカー教室メンバー募集のお知らせ」や「スタジアムにおける試合前アナウンス」など実践に即したものとした ・研修を実施したことにより、それに続く普及啓発動画の制作やチラシ・グッズ（チームマスコット「東京ドロンパ」とやさ日キャラクター「やさカニくん」のコラボ）の制作、スタジアム内外の普及キャンペーンが円滑に行われることとなった
(10) 担当部署	東京都生活文化スポーツ局都民生活部地域活動推進課 ☎ 03-5320-7738 ✉ S1121202@section.metro.tokyo.jp

【事例20】社会教育施設を核としたやさしい日本語の普及研修（大分県）

「やさしい日本語」地域拡大企画会議

のお知らせ

「やさしい日本語」を地域に暮らす方々に広め、
使ってもらうための企画を一緒に考えませんか？

回数：全2回（連続で受講することが望ましい）

日時：第1回　9月19日(日)　第2回　10月23日(土)
いずれも 13:00～16:00

会場：【第１回】和田コミュニティセンター
【第２回】如水コミュニティセンター

講師：立命館アジア太平洋大学言語教育センター長　本田 明子 教授
自治体国際化協会(CLAIR)認定 多文化共生マネージャー　森川 寿子 氏

対象：昨年度及び本年度「やさしい日本語」学習会等に参加した方
※後日、郵送またはメールにて、案内と申込書をお送りします。

この後、11月6日(土)と12月19日(日)に、
外国人と「やさしい日本語」を使いながら
「ともに暮らしやすい地域」について語り合う
「コミュニケーションワークショップ」を開催する予定です。

問合せ　大分県立図書館　学校・地域支援課　地域学習支援担当（黒木）
〒870-0008　大分市王子西町１４番１号　℡：097-546-9975　FAX：097-546-9985
「まなびの広場おおいた」ホームページ　http://manabi.oita-ed.jp

「やさしい日本語」を使った、日本人と外国人の交流イベントを一緒に考えませんか？

（「『ともに暮らす』まちづくり実践活動」企画会議）

○日と時間　第1回　6月25日(土曜日)　第2回　7月9日(土曜日)
第3回　7月23日(土曜日)　3回とも　午後1時～午後4時

○場所　別府市中央公民館

○来て　ほしい　人
◇外国人との　交流や、「やさしい日本語」に　興味が　ある　日本人
◇日本人と　日本語で　交流を　したい　外国人
※今年　初めて　参加する　人も　大丈夫です！

○先生　◇立命館アジア太平洋大学(APU)　本田　明子　先生
◇多文化共生マネージャー　森川　寿子　先生

○全部で　3回　あります。（3回とも　来てくれると　うれしいです。）
○イベントは、去年　参加した人が　考えた　ものを　もとにして　考えます。
○初めて　参加する　人や「やさしい日本語」を　あまり　知らない　人は、
「まなびの広場おおいた」(http://www.manabi.oita-ed.jp/ichioshi)
で「やさしい日本語」の　動画を　見てから　参加してください。
○3回とも　参加した人　には、「『やさしい日本語』サポーター証」を　あげます。

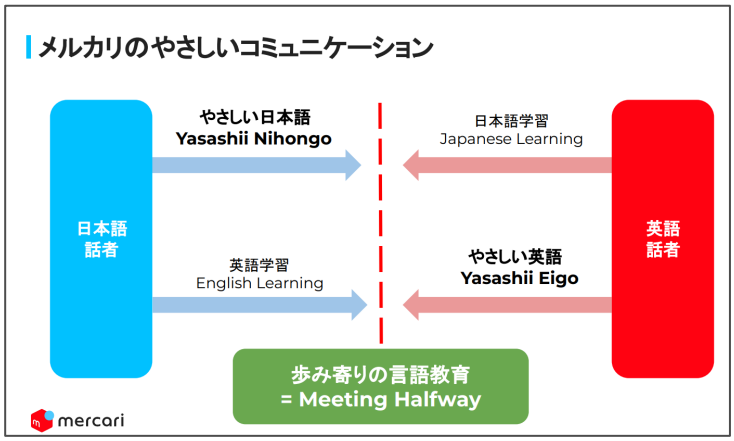
参加したい　人は　裏を　見て　ください。

(1)研修名称	「やさしい日本語」の普及と外国人との交流を目的としたイベントの企画及び実施 ①企画会議：令和3年度・4年度で別府市計12回、中津市計14回実施 ②イベント：「ともに暮らす」まちづくり実践活動（R4、別府市1、中津市3）
(2)研修の目的・狙い	日本人と外国人とのコミュニケーションの拡大を目的とした、社会教育施設を核とした「やさしい日本語」の普及や交流活動の推進 ①「やさしい日本語」を地域住民に普及し、日本人と外国人の交流機会を創出する取組の企画及びその指導・普及のサポートができる人材の育成 ②「やさしい日本語」を使った日本人と外国人との交流イベントの実施による多文化共生に向けた意識の醸成
(3)研修の対象・人数	① これまでの「やさしい日本語」事業に参加した一般市民 （企業関係者、日本語指導者、学校関係者、行政職員、防災士 等） 在住外国人（留学生、技能実習生） ・別府市のべ184名（うち外国人53名） ・中津市のべ227名（うち外国人37名） ② 運営スタッフ（①の参加者） ・別府市30名（うち外国人13名） ・中津市24名（うち外国人2名） イベント参加者数：別府市63名（うち外国人9名）※1イベント 中津市104名（うち外国人63名）※3イベント
(4)研修の方法	対面
(5)周知・広報の方法	チラシ配布・ポスター掲示（県立図書館、開催市公民館・図書館等） HP、Twitter、Facebook、市報、関係団体へのメール連絡
(6)研修の内容・構成	①多文化共生社会実現に向けた課題解決のための協議 「やさしい日本語」を使った日本人と外国人との交流 多文化共生社会実現に向けた外国人の意見 交流ベントの企画立案、準備 ※講師 多文化共生マネージャー 森川 寿子 氏 助言 立命館アジア太平洋大学言語教育センター長 本田 明子 氏 ②イベントの運営 別府市：「『やさしい日本語』”発見”交流会」（「やさしい日本語」落語、「やさしくない日本語」クイズ、外国人の出身国紹介での「やさしい日本語」を活用した交流） 中津市：耶馬渓～青の洞門サイクリングでの交流、バドミントンでの交流、カルタやゲームなどでの交流 ※①の参加者が、「やさしい日本語」サポーターとして②を運営
(7)研修使用教材	○①の開始前・幕間に、動画「『やさしい日本語』でコミュニケーション」（大分県立図書館作成）を上映 ○「『やさしい日本語』リーフレット」「『やさしい日本語』クリアファイル」（大分県立図書館作成）を会議参加者、イベント参加者に配布
(8)連携機関・団体	○別府市教育委員会社会教育課 ○中津市教育委員会社会教育課、中津市防災危機管理課 ○立命館アジア太平洋大学 ○ダイハツ九州株式会社等中津市自動車関連企業
(9)研修のポイント（特に意識したこと、効果・成果）	○学習会等の「参加者」が「やさしい日本語」の普及イベントの「主体者」として参画（地域に「やさしい日本語」を普及できる人材の育成） ○別府・中津両市での、公民館事業としての「やさしい日本語」普及・多文化共生イベントの実施 <別府市イベント> <中津市イベント>
(10)担当部署	大分県立図書館 学校・地域支援課 地域学習支援担当(黒木) ☎ 097-546-9975、FAX:097-546-9985 ✉ kuroki-tetsuya@pref.oita.lg.jp

コラム（3）多様な機関と連携したやさしい日本語研修を

やさしい日本語の研修を行うのは、地方公共団体だけなのでしょうか。
全部自前で研修を行わなければならないのでしょうか。
そんなことはありません。

既に企業や大学、日本語教育機関、NPOなどがやさしい日本語の取組を始めています。例えば、株式会社メルカリは、社内のコミュニケーションツールとしてやさしい日本語を積極的に活用していることで知られていますが、そんなメルカリのノウハウを取り入れて職員向けのやさしい日本語研修を実施している地方公共団体もあります。ほかにも地元の企業やスポーツチームと連携してやさしい日本語の取組を行っている例もあります。



大学生がやさしい日本語普及の担い手となり、活躍している例もあります。明治大学では、キャンパスがある中野区でメルカリと連携した職員研修を行っているほか、豊島区職員研修、厚木市内の小中学校教員研修、さらに小中高校でも学生がワークショップを実施しています。また、名古屋市では、名古屋市立大学に委託して、市民向けのやさしい日本語の啓発動画を制作しました。大学生がやさしい日本語の活用を呼びかけています。

〔大学生による区職員へのワークショップ〕

〔大学生が小学生とやさしい日本語カルタに挑戦〕

このように、多様な機関・団体と連携して研修を実施することにより、多くの人が関わる過程で新しいアイデアが生まれ、やさしい日本語への理解が一層深まり、広がっていきます。研修を企画する際には、様々な機関・団体との連携を考えてみてください。

コラム（4）： やさしい日本語の研修で意識したいこと

やさしい日本語は、誰のため、何のためでしょうか。

やさしい日本語の研修をはじめる前に、やさしい日本語を必要とする地域で暮らす外国人等の置かれている状況や、背景に対する理解を深めていくことも大切です。

日本語の能力も理解度も人によって異なります。外国人とのコミュニケーションを実際に経験したり、動画等を見たりすることで、地域の外国人の日本語レベルを知ることも、やさしい日本語を普及させていく上で必要なことです。

共に地域に暮らす住民として、これから様々な地域活動に参加していけるよう、多文化共生の意識を地域で醸成していくことが大切です。やさしい日本語を通じた相互理解・相互尊重の心が育まれるよう、研修では、言い換えや書き換えの技術の習得に終始するのではなく、やさしい日本語を通じて目指す地域社会の在り方を考えるような工夫ができるとよいでしょう。

そして、研修を終えてからが本番です。日々、実際にやさしい日本語を活用し、それぞれの現場で考え、工夫しながら取組を続けていくことになります。やさしい日本語の正解は一つとは限らないため、一人で書き換えたり、言い換えたりする作業は、なかなか大変です。周りの方の視点や助言を参考にして、できることから少しずつ改善し、「どうすればうまく伝わるか」を考え続けていくことこそが、やさしい日本語の普及につながります。

研修においても、そのことを体験できるよう、書き換えた文書を複数の方と共有したり、外国人住民とやさしい日本語で話してみたりといった機会を意識して組み込むことで、研修を通じたやさしい日本語の仲間が広がっていくといいですね。

やさしい日本語の研修がうまくいっている自治体は、大学や日本語教育機関、地域の企業など、様々な地域の機関を巻き込んだ研修をデザインしています。担当者一人で抱え込んで頑張りすぎず、外部の方々の知恵や力を借りて、広がりを持った研修になるようにデザインするのもよいでしょう。

やさしい日本語は、手段であって目的ではありません。
いつのまにか研修そのものが目的になってしまっていませんか。
皆さんが「やさしい日本語」という手段を使って、実現したいことは何でしょうか。それはどのような地域・社会でしょうか。

5　やさしい日本語の研修に参考となる素材例

やさしい日本語の研修に参考となるオンライン上に公開されている素材の例を紹介します。

■（1）やさしい日本語の理解促進・啓発のための研修に役立つ素材

※QR コードをクリックするとリンクに飛びます。2023年3月17日時点の公開情報に基づきます。

①	②	③
在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン 【出入国在留管理庁】	在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン（動画） 【明治大学】	「やさしい日本語」はじめませんか？ 【東京都】
やさしい日本語の中でも、特に書き言葉に焦点を当てたガイドライン。ガイドラインの解説動画として基礎編・演習編（ステップ1・2）がある。	在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインをわかりやすく解説する動画。「日本人にわかりやすい文章」「外国人にもわかりやすい文章」	「やさしい日本語」を都内全域に普及することを目指し動画（ことばがつたわる　こころがつたわる　やさしいにほん語）を作成

④	⑤	⑥
FC 東京×東京都やさしい日本語ではなそう！ 【東京都】	やさしい日本語で心の壁をなくそう！ 【佐賀県】	みなさんに知ってもらいたい言葉_やさしい日本語 【横浜市】
外国の方や障がいの有無に関わらず全ての人々にとって暮らしやすい東京を目指して、FC 東京と共に「やさしい日本語」応援 PR 動画を作成	国際課職員が作成した「やさしい日本語」動画。基礎編・入門編・実践編の動画。やさしい日本語への書き換え練習問題・解答例付き。	「やさしい日本語」を知るための全6ページのリーフレット。話すときや書くときの心がけのほか、書き換え問題もある。

⑦ 「話そう、やさしい日本語」 【静岡県】	⑧ 連載：役所をやさしく　神戸市の挑戦 【神戸市、朝日新聞 withnews】	⑨ 「やさしい日本語を使おう！」 【東京都墨田区】
「やさしい日本語」の考え方がわかる動画。外国人県民とのコミュニケーションをより円滑にするため、「やさしい日本語」を始めてみませんか。	神戸市が「やさしい日本語推進プロジェクト」の一環として、メディアと連携して、「お役所言葉」をやさしい日本語にしていく取組の過程を紹介。	やさしい日本語のコツを動画にして紹介。あいさつ編、ごみの分け方編、ごみの出し方編、防災訓練に行こう編、休日の病院編。

⑩ 「やさしい日本語の作り方」 【長野県】	⑪ 「やさしい日本語」でつながろう（動画） 【名古屋市】
やさしい日本語の作り方「文を短く分ける」「漢字の言葉を言い換える」「オノマトペは使わない」など6つの資料付解説動画を掲載。コツを動画にして紹介。	名古屋市教育委員会が作成した「やさしい日本語」の紹介動画。やさしい日本語を使うと分かりやすい実際の場面やクイズなどを通じて学ぶことができる。

○民間機関が作成した研修に活用できる素材等

① コントを通じてやさしい日本語を楽しく伝える（動画） 【やさしい日本語劇団】	② やさしい日本語には、ゆめがあります 【やさしい日本語ツーリズム研究会】	③ やさしい日本語ラップ「やさしい　せかい」 【やさしい日本語ツーリズム研究会】
やさしい日本語の普及に取り組む愛知県の劇団の公演記録（動画）どんな日本語が分かりにくいのかをコントにしている。	やさしい日本語を知るための動画。具体的なデータや映像を基にやさしい日本語の活用を呼びかける。留学生編などもある。	「やさしい日本語」をテーマにしたミュージック・ビデオ。ラップで「やさしい日本語」の活用を呼びかける。

■（2）書き言葉としてのやさしい日本語のための研修に役立つ素材

①	②	③
別冊やさしい日本語 書き換え例 【出入国在留管理庁・文化庁】	やさしい日本語研修 ワークブック（入門編） 【浜松市】	「やさしい日本語」チラシ 作成のポイント 【東京都つながり創生財団】
「生活・仕事ガイドブック（やさしい日本語版）」に出てくる用語の書き換え例をまとめたもの。50 音順で134の単語の意味を掲載。	国際課職員が作成した「やさしい日本語」動画。基礎編・入門編・実践編の動画。やさしい日本語への書き換え練習問題・解答例付き。	外国人向けに「やさしい日本語」でチラシを作成する際の、文字・文章作成のポイントやレイアウトのポイントを12にまとめ使いやすい1枚ものに整理。

④	⑤	⑥
「やさしい日本語」の手引き 【静岡県】	「やさしい日本語」を使ってみよう！ 【愛知県豊橋市】	やさしい日本語での 情報発信事例 【神戸市】
静岡県が「やさしい日本語」の作り方をまとめた冊子。書き換え練習として基礎問題と応用問題があり、実際に作成した資料の事例や参考文献も掲載。	豊橋市が作成した「やさしい日本語」への書き換えや、会話のための手順やルール、注意点を掲載したマニュアル。書き換え編と会話編がある。	やさしい日本語での情報発信として「国民年金保険料のご案内」など5つの文書を改善前と改善後を比較して掲載。

⑦	⑧	⑨
外国人への情報提供ガイドライン 「やさしい日本語」と「多言語翻訳」 【栃木県宇都宮市】	学校における「やさしい日本語」活用促進事業実施報告書 【静岡県】	「やさしい日本語」で伝える分かりやすく伝わりやすい日本語を目指して 【神奈川県横浜市】
外国人に分かりやすい情報提供についてまとめた冊子。第２章やさしい日本語の文書作成方法と練習、書き換え事例集を掲載。	学校内でのやさしい日本語活用促進のための事業報告書。実際のお便り等を改善前後の解説付きで掲載。	やさしい日本語で伝えるためのポイント集や行政がよく用いる用語をやさしい日本語を用いて作成した語彙集を収録。

○民間機関が作成した研修に活用できる素材等

①	②	③
やさにちチェッカー 【やさしい日本語科研グループ】	日本語読解学習支援システム リーディングチュウ太 【筑波大学】	NEWS WEB EASY やさしい日本語で書いたニュース 【NHK】
やさしい日本語の自動診断ツール。入力した文章を、語彙・文法・漢字・長さ・硬さの5つの項目で自動診断してくれる。	文章を入力すると使用されている語彙が、日本語能力試験で何級のレベルかを判定してくれるツール。難易度の参考になる。	外国人の方々などを対象に、わかりやすい言葉でニュースや災害に関する情報を掲載。

④	⑤
やさしい にほんご ニュース 【河北新報社】	連載「やさしい日本語」 【西日本新聞】
やさしい日本語で宮城や東北のニュースを伝える。音で聞くこともできる。日本語教師と編集局の記者が協力して作成している。	外国人や子どもにも伝わりやすい「やさしい日本語」に翻訳したニュースを毎日配信している。

■（3）話し言葉としてのやさしい日本語のための研修に役立つ素材

①	②	③
在留支援のための やさしい日本語ガイドライン ～話し言葉のポイント～ 【入管庁・文化庁】	窓口で「やさしい日本語」を使ってみましょう！ 【（一財）自治体国際化協会 宮城県支部】	やさしい日本語とコミュニケーション10のポイント 【東京都】
在留外国人とのコミュニケーションの際に留意すべき実践的な事項について、効果的な話し方や言い換え等のポイントを6つに整理。	「やさしい日本語」の使い方のヒントを簡単にまとめた「超入門編」のスライド資料。「はさみの法則」や多文化共生ツールライブラリーの紹介なども掲載。	「やさしい日本語」でコミュニケーションする際の10の「ポイントをスライドと解説動画で分かりやすく紹介。

④	⑤	⑥
はじめて豊島区に住んでみた～留学生編～（10テーマの生活基本情報）動画 【東京都豊島区】	やさしい日本語教材動画 【名古屋市中区】	「やさしい日本語」で コミュニケーション（動画） 【大分県】
来日間もない留学生向けに生活基本情報をやさしい日本語で説明する動画。税金や保険、防災などの10のテーマがある。	区役所職員の多文化共生への理解を深めるため、名古屋市立大学の学生の協力のもと、研修用動画を作成。	外国人とコミュニケーションするときに伝わりにくい日本語を考える動画。生活編、活用編など。

⑦
業務で使えるやさしい日本語研修（窓口対応編） 【栃木県宇都宮市】
外国人に分かりやすい情報提供についてまとめた冊子。第２章 p.17 やさしい日本語窓口対応「やさしい日本語で話す5つのポイント」や言い換え事例集など。

○民間機関が作成した研修に活用できる素材等

①	②	③
医療で用いる 「やさしい日本語」動画 【順天堂大学】	コミュニケーション支援ボード 【（公財）明治安田こころの健康財団】	やさしい日本語で情報発信（動画） 【明治大学】
外国人診療に役立つ「やさしい日本語」の動画教材。医療者が使えるフレーズを事例別に紹介。基礎編・コツ編・受付編などがある。	話し言葉によるコミュニケーションにバリアのある知的障害や自閉症の人たちが使いやすいコミュニケーション支援のツールの開発。	外国人住民に向けて「国民健康保険」や「コロナ関連情報」などに関する情報をやさしい日本語で表現した解説動画

おわりに

「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」に基づき、「別冊やさしい日本語書き換え例」「話し言葉のポイント」、そして、この「やさしい日本語の研修のための手引」が作成されました。今後、これらを参考に全国各地でやさしい日本語の新たな研修が企画・実施され、広がっていくことでしょう。

やさしい日本語の取組は、全国各地の関係者の創意工夫により日々進化を遂げています。国としても、今後地方公共団体の研修状況を踏まえ、地方公共団体がより利用しやすい研修教材を作成したり、各地の優れた研修事例や教材を収集し、オンラインで共有・発信し、横展開していけるよう取組を推進していくことを期待します。

やさしい日本語の研修を通じて、行政、学校、企業、市民団体、地域住民などが共に、共生社会におけるコミュニケーションや情報の伝え方について考え、その輪を広げていくことが私たちの願いです。

話し言葉のやさしい日本語の活用促進に関する会議構成員

(敬称略・五十音順)

岩 田 一 成　聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科教授

関 根 なつき　一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR（クレア））
多文化共生部多文化共生課長

ダンチュンフン　神戸市市長室国際部国際課多文化共生専門員

新 居 みどり　特定非営利活動法人国際活動市民中心（CINGA（シンガ））理事

平 田 春 奈　静岡県くらし・環境部県民生活局多文化共生課

村 田 陽 次　東京都生活文化スポーツ局都民生活部
地域活動推進課課長代理

山 脇 啓 造　明治大学国際日本学部専任教授（座長）